Panasonic®

取扱説明書 基本ガイド

パーソナルコンピューター

品番 CF-R9 シリーズ

（Windows XP）

紙で見る（もくじ：2ページをご覧ください）

はじめに見る　『**取扱説明書 準備と設定ガイド**』最初に「付属品の確認」で付属品を確認してください。

次に見る　『**取扱説明書 基本ガイド**』（本書）

困ったときに見る　『**取扱説明書 基本ガイド**』（本書）**の各Q&A**

画面で見る（もくじ：4ページをご覧ください）

『操作マニュアル』/『困ったときのQ&A』
インターネットやセキュリティ、バッテリーなど、本機をより活用するための機能を説明しています。また、使用上のトラブルなどについて、原因や解決方法も説明しています。

[スタート]-[操作マニュアル]をクリックして表示できます

『ハードディスクの取り扱いについて』
『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』
（TPM搭載モデルのみ）

表示方法は18ページをご覧ください

は画面で見るマニュアルのマークです。

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（5～9ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品の品番は、本体底面の品番表示または「仕様」でご確認ください。

もくじ

本機を安全・快適に、そして便利に活用していただくために、次の説明書を用意しています。

『取扱説明書 準備と設定ガイド』 はじめに必ずお読みください。	• 初めてお使いになるとき（ご使用前の準備・設定や付属品の確認） • 消耗品、別売り商品、アフターサービスについて知りたいとき
『取扱説明書 基本ガイド』（本書）	• 基本操作や仕様などの情報を知りたいとき • 困ったとき（画面で見るマニュアルが見られない場合）
画面で見る『操作マニュアル』と『困ったときのQ&A』	• 本機の機能・操作・活用方法を知りたいとき • セキュリティ機能について知りたいとき • 困ったとき

パスワード/メッセージのQ&A

バッテリーのQ&A

ポインターと画面表示のQ&A

ハードウェアを診断する

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

エラーコードが表示されたら

フィルタリングについて

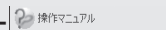
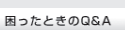
再インストールについては、付属の『OSのインストールについて』をご覧ください。

●仕様一覧

保証とアフターサービスについては、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。

もくじ

画面で見る『操作マニュアル』

本機の機能詳細・操作・活用方法やセキュリティ機能について知りたいときにご覧ください。
スタート - 操作マニュアル をクリックし、操作マニュアル をクリックしてください。

画面で見る『困ったときのQ&A』

本機が正常に動作しないなどのトラブルが発生したときにご覧ください。
スタート - 操作マニュアル をクリックし、困ったときのQ&A をクリックしてください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

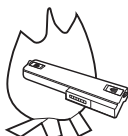
●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

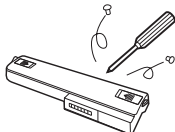
危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

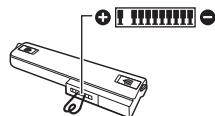
●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

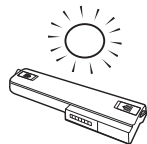
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

バッテリーパックに関する注意 危険

火中に投入したり加熱したりしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

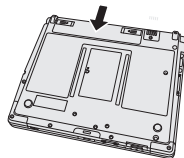
クギを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。
●強い衝撃が加わったら、すぐに使用をやめてください。

プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

発熱・発火・破裂の原因になります。
●ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしないでください。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

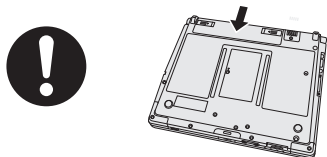
指定の方法で充電する

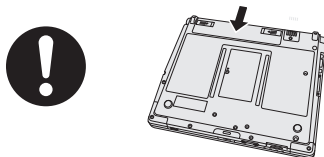
指定の方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

劣化したら新品と交換する

劣化したバッテリーパックを使用し続けると、発熱・発火・破裂の原因になります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

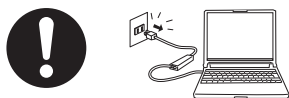
バッテリーパックに関する注意 ⚠危険

付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する

CF-R9シリーズ専用のバッテリーパックです。CF-R9シリーズ以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

必ず、指定のバッテリーパックを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

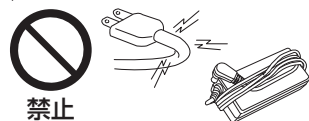
異常・故障時には直ちに使用をやめる

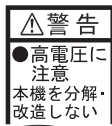
異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

- 破損した
- 内部に異物が入った
- 煙が出ている
- 異臭がする
- 異常に熱い

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、販売店に修理についてご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

分解や改造をしない

⚠警 告
●高電圧に注意
本機を分解・改造しない

［本体に表示した事項］

高圧部による感電や、異物の混入などによる火災の原因になります。

本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない

水などの液体がこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

● キーボードに水がかかった場合は、本書の10ページに従ってください。その他の異物が内部に入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを抜いて、販売店にご相談ください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

雷が鳴り始めたら、本機やケーブルに触れない

感電の原因になります。

長時間直接触れて使用しない

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※1の原因になります。

※1 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

警告

植込み型心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る※2

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る※2

手術室、集中治療室、CCU※3などには持ち込まないでください。本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る※2

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

※2 やむをえずこのような環境でパソコン本体を使用する場合は、無線切り替えスイッチを左（OFF側）にスライドしてください。ただし、航空機の離着陸時など、無線の電源を切ってもパソコンの使用が禁止されている場合もありますので、注意してください。

※3 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

注意

不安定な場所に置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に置かない

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

高温の場所に長時間放置しない

火のそばや炎天下など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良などにより火災・感電につながることがあります。

⚠注意

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

禁止

LANコネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T以外のネットワーク
- 電話回線（IP電話、一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話など）

モデムは、一般電話回線で使用する（モデム搭載モデルのみ）

会社、事務所などの内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話に接続したり、本機で対応していない国や地域※4で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

※4 本機のモデムが対応している国や地域については、60ページをご覧ください。

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

ACアダプターに強い衝撃を加えない

禁止

落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

● ACアダプターの修理は、販売店にご相談ください。

必ず指定のACアダプターを使用する

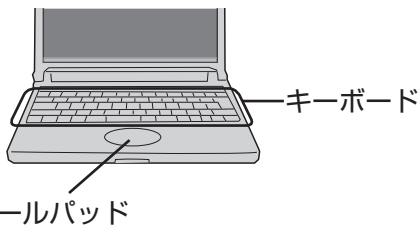
指定（付属および指定の別売り商品）以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

使用上のお願い

キーボードに水をこぼしたとき

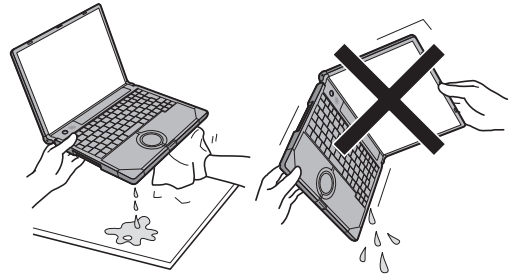
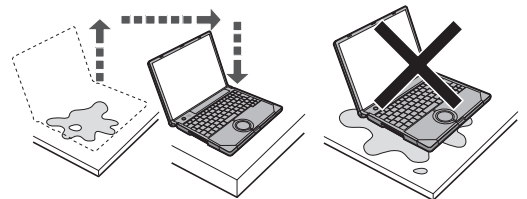
本機は、キーボード上に水をこぼしてもパソコン内部への水滴の浸入を極力抑えることができるキーボード全面防滴を採用しています。

これは、キーボードにかかった水滴が、パソコン内部にたまることを極力抑えるもので、内部部品やハードディスクの故障/破損、データの破壊/消失などの防止を保証するものではありません。

キーボードおよびホイールパッドのみが防滴構造です。
その他の部分は、防滴構造ではありません。

- 万一、水などの液体をキーボード上にこぼしてしまったときは、少量の場合でも必ず次の処置を行ってください。こぼしたまま放置すると、故障の原因になります。キーボードの防滴構造は、水滴の浸入を完全に防ぐものではありません。

  ① すぐに電源を切り、ACアダプターを取り外す。

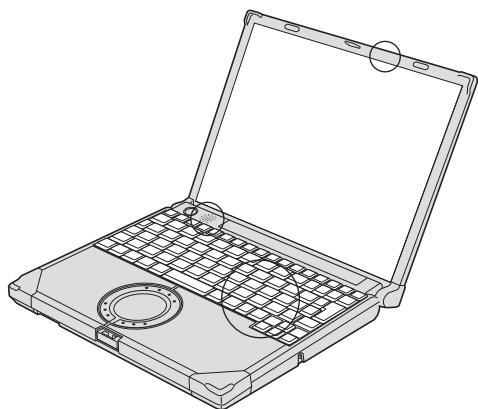
  ② キーボード上の水滴などを、乾いた柔らかい布でふく。

  ③ ゆっくりとパソコン本体を水平のまま持ち上げ、そのまま底面に付いた水を乾いた柔らかい布でふく。
  途中で傾けると、液体がパソコン内部に浸入して故障の原因になります。

  ④ パソコンを水平にしたまま、乾いた場所に移動させる。
  水が残っている机の上などに本機を置いていると、底面から水が浸入する可能性があります。

  ⑤ ふき取った後、バッテリーパックを取り外す。

  ⑥ 必ず、修理に関するご相談窓口に点検を依頼してください。

液体をこぼしたことによる修理は、保証期間内でも有料となります。あらかじめご了承ください。

使用/保管に適した環境

- 平らで落下のおそれがない場所
  パソコンが落下すると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。
- 使用時の温度：5℃～35℃
  湿度：30 % RH ～ 80 % RH
  （結露なきこと）
  保管時の温度：－20℃～60℃
  湿度：30 % RH ～ 90 % RH
  （結露なきこと）
  上記の範囲内であっても、低温、高温、高湿度など極端に偏った環境で長期間使い続けると、製品の劣化により製品寿命が短くなるおそれがあります。
- 熱のこもらない環境
  - 保温性の高いところ（ゴムシートや布団の上など）での使用は避け、スチール製の事務机など放熱性が優れた場所でお使いください。
  - 放熱の妨げとなりますので、タオルやキーボードカバーなどで覆わずにお使いください。
  - 本体のディスプレイは、開いた状態でお使いください（ディスプレイを閉じた状態でも、発煙・発火・故障のおそれはありませんが、温度が上がらないように動作が遅くなる場合があります）。
- 磁気を発生するものおよび磁気カードなどから離れた場所
  - 磁石、磁気ブレスレットを近づけないでください。
  - 本機は下図の丸印の位置に磁石および磁気製品を使用しています。磁気カードや磁石、磁気ブレスレットなどが触れた状態にしないでください。

長時間連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

使用中に本機が熱いと感じたら

CPUの動作などにより本機が熱くなることがありますが、故障ではありません。

- **デスクトップの （ファン制御ユーティリティ）をダブルクリックし、[高速]をクリックして[OK]をクリックしてください。**
  - [高速]に設定すると冷却ファンの回転が高速になり、本機の温度を下げることができます。ただし、バッテリーの駆動時間が短くなります。
  - CPUの使用率が高くない場合や、ファンの回転音などが気になる場合は、必要に応じて[標準]または[低速]に設定してください。
- **次の設定を行うと、パソコン内部の発熱を下げることができます。**
  - 無線LANをご利用にならない場合は、無線LANの電源を切ってください。
  - スクリーンセーバーを表示中に本機が熱くなる場合は、スクリーンセーバーを[Windows XP]に設定してください。3D映像を利用するスクリーンセーバーなどの場合、CPUの使用率が高くなってパソコン本体の温度が高くなることがあります。
  - メモリーを増設する場合は当社推奨のRAMモジュールをお使いください。推奨以外のRAMモジュールを取り付けると、発熱量が大きくなったり、正常に動作しなかったりする場合があります。

駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使い方や使用環境によって大きく変わります。

本機では、他のメーカーとの比較のために共通の測定法として社団法人電子情報技術産業協会の「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」（以降、JEITA測定法と表記）を採用しています。

測定法については、『操作マニュアル』「（バッテリー）」の「駆動時間について」をご覧ください。

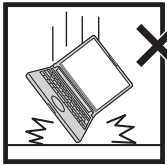
重 要

JEITA測定法は、画面を暗くするなど消費電力を抑えた状態で測定しているため、画面を明るくして使っていたり、アプリケーションソフトをたくさん起動していたりすると、駆動時間はJEITA測定法の駆動時間より短くなります。

はじめに

内蔵ハードディスクのデータ保護

データ保護のために次のことをお守りください。

● **パソコン本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。**

ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやWindowsおよびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。

● **Windowsやアプリケーションソフトの動作中およびハードディスク状態表示ランプの点灯中は、電源を切らない。**

ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]メニューから電源を切ってください。

● **磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。**

ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。

● **データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。**

➡ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」

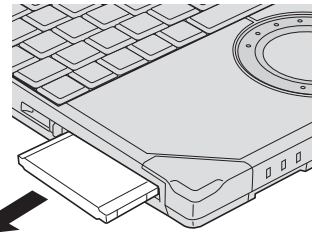
『ハードディスクの取り扱いについて』もご覧ください。（➡18ページ）

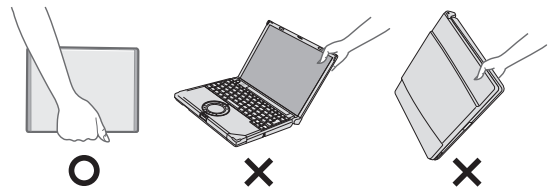
持ち運ぶとき

お守りください

● 本機は、ハードディスクドライブなどへの衝撃が小さくなるように設計されていますが、衝撃による故障は保証しかねます。本機は精密機器ですので、取り扱いには十分注意してください。

● 電源を切る。

● 外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード、SDメモリーカードなどをすべて取り外す。

● ディスプレイを閉じ、ディスプレイラッチ部分（➡21ページ）がきちんとかみ合っていることを確認する。

● ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って運ばない。

● 落としたり机の角など硬いものにぶつけたりしない。

● 航空機利用時は次のことを守る。

- パソコンやディスクなどは、手荷物として持つ。
- 航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。

●液晶部分が破損するおそれがあるため、バッテリーパックを取り外しているときは、ディスプレイを閉じた上から必要以上の力を加えない。また、この状態でかばんなどに入れて持ち運ぶときも、満員電車などで力がかからないように気を付ける。

お勧めします

●ACアダプターと、予備のバッテリーパック（別売り）を用意する。

●予備のバッテリーパック（別売り）は、コネクター保護のためビニール袋などに入れる。

●SDメモリーカード、USBメモリー、外付けハードディスク（いずれも別売り）などにデータのバックアップを取る。

お手入れ

●ディスプレイやホイールパッドのお手入れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

●ディスプレイ以外の部分やホイールパッドに汚れが付着した場合は、水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたく絞ってやさしく汚れをふき取ってください。中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

重 要

●ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。

●水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

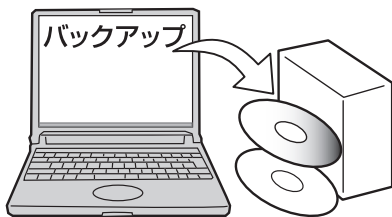
使用上のお願い

気温が高い場所でお使いになる場合

●気温が高い場所で連続してお使いの場合、パソコン内部の発熱を下げるモードに入るため、一時的に動作が遅くなることがあります。

電子メールなどのバックアップと復元

ハードディスクに保存している電子メールやアドレス帳、お気に入りなどの必要なデータは、定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

詳しくは『操作マニュアル』「（インターネット）」または「（電子メール）」をご覧ください。

故障や不本意なデータ更新/消失などのトラブル発生時の被害を最小限に抑えるためには、定期的なデータのバックアップが有効です。

バッテリー状態表示ランプが点灯しないとき

ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。
電源コードを抜き、1分以上待ってから再度接続してください。
それでもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

周辺機器の使用について

パソコン本体、周辺機器、ケーブルなどの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

●仕様に適合した周辺機器を使用する。

●コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。

●接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認する。

●固定用のネジがある場合は、ネジを締める。

●ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

また、本書および『操作マニュアル』と合わせて、使用する周辺機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

プロダクトリカバリー DVD-ROM は大切に保管してください

OSをインストールし直す場合などに必要です。

無線LANご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線LANのセキュリティに関する設定は行われていません。

無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

➡ 『操作マニュアル』「（無線機能）」

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンと無線LANアクセスポイント（別売り）との間で情報のやりとりを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁など）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。
- IDやパスワード
- クレジットカード番号などの個人情報
- メール内容

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性があります。
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本機の無線LAN機能や無線LANアクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線LANアクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

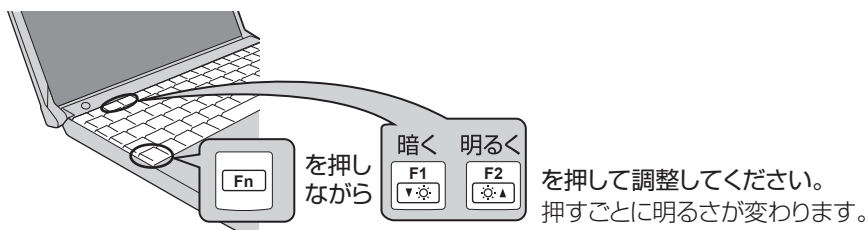
無線LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

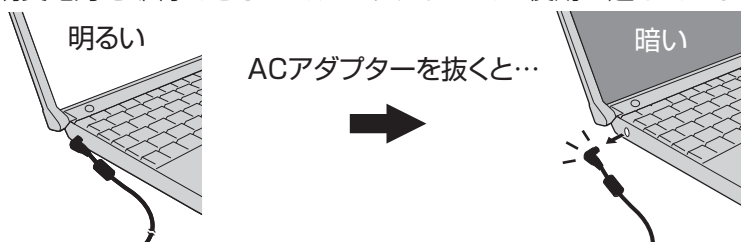
省電力設定について

本製品は、デバイスへのアクセスや操作がない状態が一定時間続いたときに省電力機能が働くなど、国際エネルギースタープログラムに準拠した電力管理が工場出荷時に設定されています。本機を使用していない間の消費電力を削減することができます。
- スタンバイ／休止状態から復帰する方法については、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「次回すぐに操作を始めるには」をご覧ください。

画面の明るさを調整する

を押して調整してください。
押すごとに明るさが変わります。

明るくすると、バッテリーの駆動時間は短くなります。

ACアダプターを抜くと暗くなる

工場出荷時、ACアダプターを接続していない状態では画面を暗くするように設定されています。
画面を暗くすると消費電力を節約できるので、バッテリーでの使用に適しています。

メモ

ACアダプターを接続しているときと接続していないときの明るさを別々に覚えています。工場出荷時の設定では、ACアダプターを抜くと画面が暗くなるように設定されています。ACアダプターを接続していない状態で[Fn]+[F2]を押して明るくすると、その明るさが保持され、次にACアダプターを抜いたときも調整した明るさになります。（明るくしていると、バッテリーでの駆動時間が短くなります。）

表記について

Enter	**キーボードのEnterキーを押すこと。**
Fn ＋ F5	**キーボードのFnを押しながら、F5を押すこと。** **FnとCtrl（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➡32ページ）は、FnとCtrlを置き換えてご覧ください。**
［スタート］ -［検索］	**画面上の［スタート］をクリックした後、［検索］をクリックすること。**
➡	**参照先**
(マニュアルアイコン)	**画面で見るマニュアルのこと。**

●本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。

制限付きアカウントのユーザーやGuestアカウントで実行できない機能があったり、説明と異なる画面が表示されたりした場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

●本書では、「Windows® 7 Professional 32ビット 正規版（日本語版）」および「Windows® 7 Professional 64ビット正規版（日本語版）」を「Windows 7」と表記し、「Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 3 正規版」を「Windows」と表記します。

●Windows XPダウングレード済みモデルは、Windows 7 Professionalモデルをご購入されたお客さまの権利であるOSのダウングレード権の行使を、当社がお客さまに代わってWindows XP Professionalをインストールしてご提供するモデルです。OSライセンスは「Windows® 7 Professional」です。Windows 7用の各種説明書は、下記サポートページからダウンロードすることができます。
http://askpc.panasonic.co.jp/s/download/manual.html

●本書では、搭載されている機能によって説明が異なるため、次のような表記で区別しています。
- 「TPM搭載モデル」とは、セキュリティチップ（TPM）が内蔵されているモデルのことです。
- 「ハードディスク搭載モデル」とは、フラッシュメモリードライブではなくハードディスクドライブが内蔵されているモデルのことです。

「仕様」でお持ちのパソコンがどのモデルか確認してください。

●別売りの商品について

本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

●無線LANを内蔵していないモデルをお使いの方へ

無線LANを内蔵していないモデルをお使いの方は、本書および『操作マニュアル』などに記載されている無線LAN機能をお使いいただくことはできません。また、無線LAN機能に関連する項目なども表示されません。

例：セットアップユーティリティの「詳細」メニューの［無線LAN］

画面で見るマニュアルの見方

次のマニュアルは本機に保存されていて、Windowsのセットアップ（➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』）が終わった後、見ることができます。

『操作マニュアル』『困ったときのQ&A』を見る

1 [スタート]-[操作マニュアル]をクリックする。

- デスクトップの（バッテリー等の上手な使い方）をダブルクリックすると、『操作マニュアル』の「（バッテリー）」が表示されます。

『ハードディスクの取り扱いについて』を見る（PDF形式）

ハードディスク搭載モデルのみ表示されます。ハードディスクの取り扱いについて説明しています。

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[ハードディスクの取り扱いについて]をクリックする。

『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』を見る（PDF形式）

内蔵セキュリティチップ（TPM）のインストール方法などを説明しています。
TPM搭載モデルのみの機能です。

1 [スタート]-[操作マニュアル]をクリックする。

2 [（セキュリティ）]をクリックし、[データを暗号化する]をクリックする。

3 説明をよく読み、[内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き]をクリックする。

「内蔵モデムの使い方」を見る（PDF形式）

内蔵モデムを使って電話回線に接続する方法などを説明しています。

1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

2 「c:¥util¥manual¥modemtip.pdf」と入力して[OK]をクリックする。

『内蔵モデムコマンド一覧』を見る（PDF形式）

内蔵モデムの設定で使用するコマンドの一覧です。

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[内蔵モデムコマンド一覧]をクリックする。

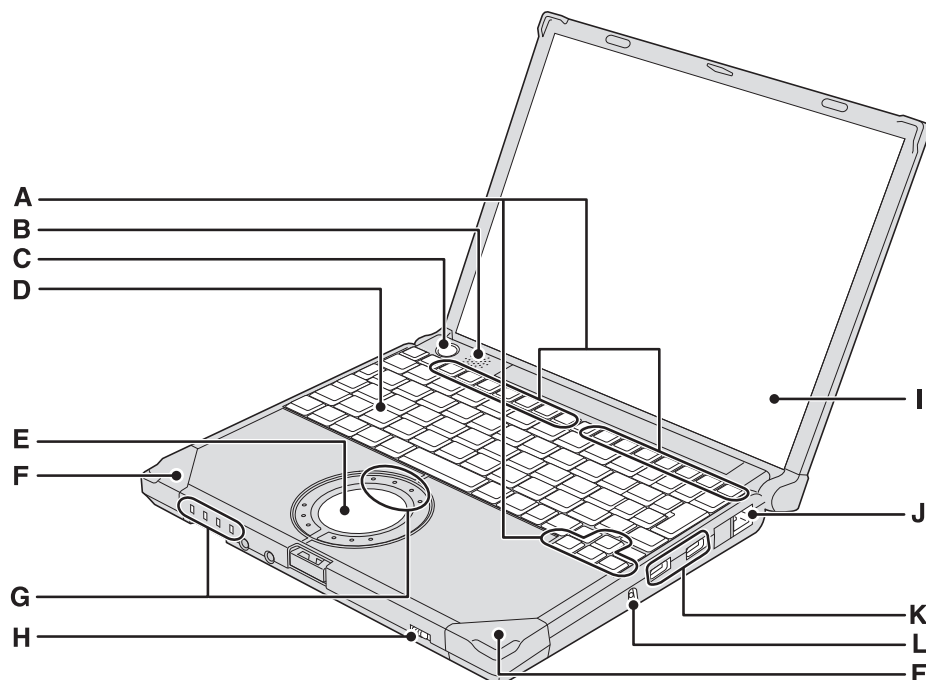
Windowsのヘルプを見る

1 コンピューターの管理者の権限でログオンし、[スタート]-[ヘルプとサポート]をクリックする。

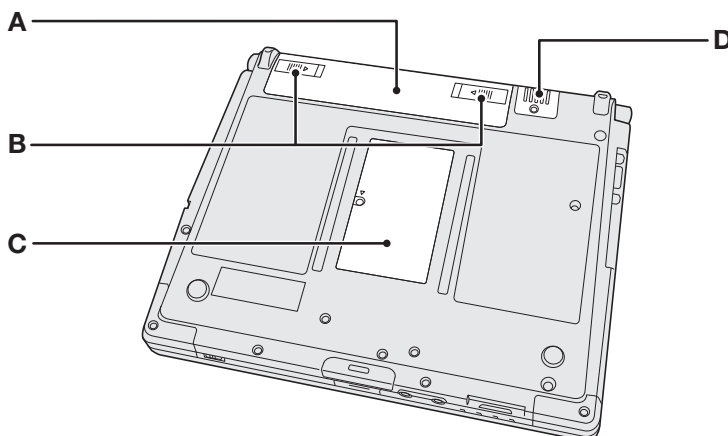
制限ユーザーでログオンすると、一部参照できないページがあります。

メモ

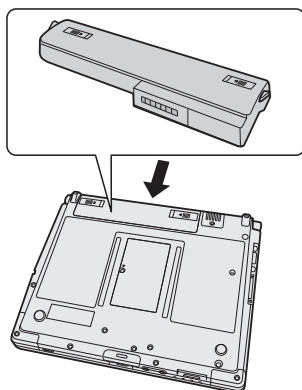
- Adobe Readerのアップデートを促すメッセージが表示された場合は、画面に従ってアップデートしてください。
  Adobe Readerの最新版については次のWebページをご覧ください。
  http://www.adobe.com/jp/

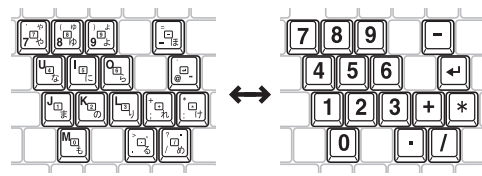
各部の名称と働き

名　称		働き/参照先
A	ファンクションキー	Fnと組み合わせて押すと、各キーに割り当てられている機能が働きます。 ➡25ページ
B	スピーカー	• 音量調整　:Fn+F5(下げる)／Fn+F6(上げる) • スピーカーのオン／オフ :Fn+F4
C	電源スイッチ/ 電源状態表示ランプ ⏻	約1秒間押すと電源が入り、電源状態表示ランプが点灯します。4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。 (電源状態表示ランプ ➡22ページ/電源スイッチ ➡23ページ)
D	キーボード	—
E	ホイールパッド	➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」 ➡ 『操作マニュアル』「(ホイールパッド)」
F	無線用アンテナ(内蔵)	無線通信用のアンテナが内蔵されています。 ➡ 『操作マニュアル』「(無線機能)」
G	状態表示ランプ SD ECO A 1	➡22ページ
H	無線切り替えスイッチ WIRELESS	無線LANなど本機に搭載されているすべての無線機器の電源のオン(右側)／オフ(左側)を切り替えます。 ➡ 『操作マニュアル』「(無線機能)」
I	ディスプレイ (内部LCD)	明るさ調整:Fn+F1(下げる)/Fn+F2(上げる) ➡16ページ
J	LANコネクター	LANケーブルを接続します。 ➡ 『操作マニュアル』「(インターネット)」の「有線LANで接続する」

各部の名称と働き

	名　称	働き/参照先
K	USBポート	USBケーブルを接続します。 ➡『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「USB機器を接続する」
L	セキュリティロック	ケンジントン社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。 接続のしかたはケーブルに付属の説明書をご覧ください。 セキュリティロックおよびセキュリティケーブルは盗難を予防するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。

	名　称	働き/参照先
A	バッテリーパック	➡『操作マニュアル』「（バッテリー）」 バッテリーパックの取り付け/取り外しの方法は、下記をご覧ください。
B	ラッチ	バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。取り外すときは、内側にスライドしてロックを解除します。
C	拡張メモリースロット	RAMモジュールを取り付けます。➡26ページ
D	通風孔	内部の熱を逃がします。

● **バッテリーパックの取り付け方法**

バッテリーパックを矢印の方向にスライドして取り付ける。

● **バッテリーパックの取り外し方法**

左右のラッチをロック解除 の方向にスライドした状態で、バッテリーパックを本体と平行に外へ押し出す。

	名 称	働き/参照先
A	電源端子 DC IN 16V	ACアダプターを接続します。
B	外部ディスプレイコネクター	外部ディスプレイのケーブルを接続します。 ➡ 『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「外部ディスプレイを使う」
C	PCカードスロット	➡ 『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「PCカードを使う」
D	SDメモリーカードスロット	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカード専用です。 ➡ 『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「SD/SDHCメモリーカードを使う」
E	ディスプレイラッチ	ディスプレイを閉じてラッチがロック状態になるとスタンバイ状態や休止状態に入ります。操作を再開するときはディスプレイを開けてください。
F	マイク入力端子	コンデンサー型マイクロホンを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。 • ステレオマイクを使ってステレオで録音する場合: [スタート]-[コントロールパネル]-[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]-[SmartAudio]をクリックし、「SMARTAudio」画面で[(音声効果)]をクリックして[音声録音]および[VOIP]の各アイコンをグレー表示にしてください。カラーで表示されているアイコンをクリックするとグレー表示になります。 • 2極プラグのモノラルマイクをお使いになる場合: 上記手順で「SMARTAudio」画面を表示し、[(音声効果)]をクリックして[音声録音]に設定してください((音声効果)のアイコンがカラー表示になっていることを確認してください)。 [音声録音]に設定しないと、ステレオ録音したときに左側からしか音が出ません。 • ヘッドホンでマイク音をモニターする場合: 2極プラグタイプのモノラルマイクを使うと、左側からしか音が出ません。 これは、本機の仕様で故障ではありません。
G	オーディオ出力端子	市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

状態表示ランプ

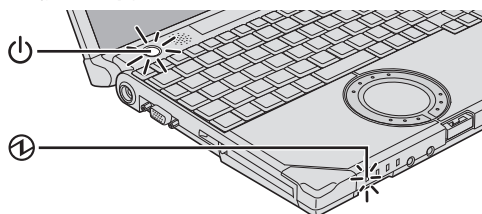
名　称	状態/参照先
電源状態表示ランプ	• 消灯：電源オフまたは休止状態 • 点灯：電源オン • 点滅：スタンバイ状態 工場出荷時の状態では、内部LCDの明るさに合わせて電源状態表示ランプの明るさも変わります。セットアップユーティリティの「メイン」メニューの[LED輝度]で常に暗く設定することもできます。 スタンバイ状態または休止状態から復帰するには、電源スイッチを押してください。
SDメモリーカード状態表示ランプ SD	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードへのアクセス時に点灯します。
エコノミーモード（ECO）ランプ ECO	バッテリーのエコノミーモード（ECO）の有効/無効を表します。 • 消灯：無効 • 点灯：有効 • 点滅：有効（残量80%まで放電中）
バッテリー状態表示ランプ	• 消灯：バッテリーパック未装着または充電していない状態 • オレンジ色点灯/明滅：充電中 • 緑色点灯：充電完了 • 赤色点灯：残量約9%以下 • 赤色点滅、オレンジ色点滅：「バッテリーのQ&A」の「バッテリー状態表示ランプ が点滅しているときは？」（➡43ページ）をご覧ください。
Caps Lockランプ（キャップスロック） A	Shiftを押しながらCaps Lockを押すと点灯または消灯し、入力できるアルファベットの種類を表します。 • 点灯：大文字 • 消灯：小文字
NumLockランプ（ナムロック/テンキーモード） 1	NumLkを押すと点灯し、下図のようにキーボードの一部がテンキーとして機能します。ランプ点灯時にキーを押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。 解除するには、もう一度NumLkを押します（ランプ消灯）。 テンキーモード 7 8 9 − / 4 5 6 ↵ / 1 2 3 + * / 0 . / ↵の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。
ScrLkランプ（スクロールロック）	Fnを押しながらNumLk（ScrLk）を押すと点灯または消灯します。使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
ハードディスク状態表示ランプ	ハードディスクへのアクセス時に点灯します。

電源を入れる / 切る

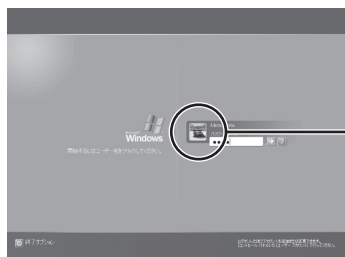
電源を入れる

初めて電源を入れるときの操作は『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。

1 電源スイッチ⏻を約1秒間押す。

- 電源状態表示ランプ⏻および⏻が点灯したら手を離します。
- 電源スイッチを4秒以上押したり、連続して押したりしないでください。

- 起動中（ポインターが砂時計⌛から通常のものに戻り、ハードディスク状態表示ランプが消えるまで）は、次のことをしないでください。
  - ACアダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。

2 Windowsにログオンする。

複数のユーザーアカウントを作成している場合は、ハードディスク状態表示ランプが消えてから、ユーザーアカウントのアイコンをクリックします。

- パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して➡をクリックしてください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。

文字入力の設定がキャップスロックやナムロック（➡22ページ）になっていないことを確認してください。

電源を入れた後、すぐに下の画面が表示されたら…

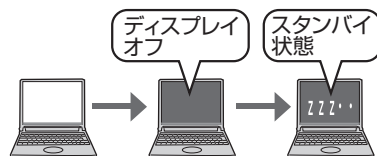
本機のセキュリティのため、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されています。パスワードを入力し Enter を押してください。正しく入力すると起動します。

3回間違えるかパスワードを入力せずに約1分経過すると、電源が切れます。

画面の表示が消えたら…

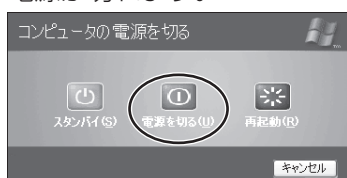
お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、省電力機能が働き画面の表示が消えます。

ホイールパッド、キーボードを操作すると元の状態に戻ります。
動作に影響のないキー（ Ctrl や Shift など）を押してください。
また、本機を操作しないと、スタンバイ状態に入ります。電源スイッチを押すと元の状態に戻ります。

一定時間アクセスがないと（工場出荷時の設定）

スタンバイ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。
ACアダプターを接続しておくことをお勧めします。

電源を切る

ホイールパッドを使って電源を切る

1. **必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。**
2. **[スタート]-[終了オプション]をクリックする。**
3. **[電源を切る]をクリックする。**
   電源が切れます。

   起動し直したい場合（再起動）は[再起動]をクリックします。
4. **ディスプレイを閉じる。**
   ディスプレイラッチがきちんとかみ合う（ロックされる）まで上からしっかりと押してください。

キーボードを使って電源を切る

1. **必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。**
2. **[Windows]、[U]の順に押し、[←][→][↓][↑]で[電源を切る]を選ぶ。**
3. **[Enter]を押す。**
4. **ディスプレイを閉じる。**
   ディスプレイラッチがきちんとかみ合う（ロックされる）まで上からしっかりと押してください。

重 要

- **電源が切れるまでは、次のことをしないでください。**
  - ACアダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。
- **電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。**

- **長時間ご使用にならないときは**
  - 節電のため、パソコン本体の電源を切り、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください（電源コンセントに接続したままにしておくと、ACアダプター単体で最大0.3Wの電力を消費しています）。
  - パソコン本体の電源が切れている状態でもパソコン本体は電力を消費します。長時間ご使用にならなかった場合は、次回お使いになる前にバッテリーを充電するか、ACアダプターを接続してください。

  バッテリー残量保持期間は次のとおりです。

スタンバイ状態	約3.5日 （LAN Wake Up機能有効時：約2日）
	スタンバイ状態でバッテリー残量がなくなると保持されていたデータは失われます。
休止状態	約20日 （LAN Wake Up機能有効時：約4日）
電源オフ	約20日 （Power On by LAN機能有効時：約4日）

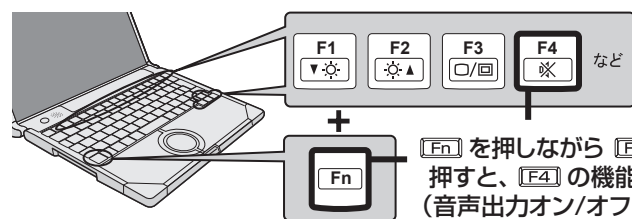
LAN Wake Up機能有効時でも、LANケーブルを接続していない場合は少し長くなります。
LAN Wake Up機能およびPower On by LAN機能については、『操作マニュアル』「（インターネット）」の「有線LANで接続する」をご覧ください。

席を外すなど、操作を中断する

「スタンバイ」または「休止状態」の機能を使うと、次回電源を入れたとき、操作していたアプリケーションソフトやファイルが表示され、すぐに操作を再開することができます。

- [Fn]+[F7]を押すと、スタンバイ状態になります。
- [Fn]+[F10]を押すと、休止状態になります。
- 電源スイッチを押すと元の状態に戻ります。

Fnキーを使う

Fnを押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーを押すと、次の表のような機能が働きます。

- 各機能の詳細：
  ➡『操作マニュアル』「（キーボード）」の「Fnキーを使う」
- FnとCtrl（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➡32ページ）：
  Fnの代わりにCtrl（左側）を押してください。

キー	機能	画面表示
Fn ＋ F1 Fn ＋ F2	内部 LCDの明るさを調整します。 Fn+F1（下げる）/Fn+F2（上げる）	
Fn ＋ F3	外部ディスプレイ接続時、表示先を内部LCD/同時表示/外部ディスプレイに切り替えます。画面表示が完全に切り替わるまで、他のキーは押さないでください。	–
Fn ＋ F4	スピーカーとオーディオ出力端子からの音声出力のオン/オフを切り替えます。 音声出力をオフにすると、ビープ音も鳴らなくなります。	オン オフ（ミュート）
Fn ＋ F5 Fn ＋ F6	スピーカーとオーディオ出力端子からの音量を調整します。 Fn+F5（下げる）/Fn+F6（上げる）	
Fn ＋ F7	現在のパソコンの状態がメモリーに保存されてスタンバイ状態に入ります。	–
Fn ＋ F9	バッテリーの残量を表示します。	100 バッテリーパック装着時（%表示は一例） バッテリーパック未装着時 ECO バッテリーのエコノミーモード（ECO）が有効の場合は、「ECO」と表示
Fn ＋ F10	現在のパソコンの状態をハードディスクに保存して休止状態に入ります。	–
Fn ＋ F11	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。（SysRq）	–
Fn ＋ F12	画面全体をクリップボードにコピーします。（PrtSc） Fn＋Alt＋F12を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	–
Fn ＋ NumLk Fn ＋ Ins Fn ＋ Del	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。 Fn＋NumLk：ScrLk　Fn＋Ins：Pause Fn＋Del：Break	–
Fn ＋ ⇤	最初のページに移動またはポインターを行の先頭に移動（Home）	–
Fn ＋ ⇥	最後のページに移動またはポインターを行の最後に移動（End）	–
Fn ＋ ↑	前のページに移動（PgUp）	–
Fn ＋ ↓	次のページに移動（PgDn）	–

メモリー容量を増やす

本機には拡張メモリースロットが１つ用意されています。別売りのRAMモジュールを増設して、搭載されているメモリー容量を増やすことにより、Windowsやアプリケーションソフトの処理速度を上げることができます（お使いの使用条件により効果は異なります）。

重 要

次のことにご注意ください。

- RAMモジュールはCF-BAC02GUなどの推奨品をお使いください。
  推奨品については、弊社の最新のカタログやWebページでご確認いただけます。推奨以外のRAMモジュールを取り付けると、正常に動作しなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
  また、場合によっては発熱によりカバーが変形する場合があります。
- 使用可能なRAMモジュールの仕様については、「仕様」（➡56ページ）をご覧ください。
- 推奨以外のRAMモジュールを使用した場合や誤った方法で取り付けまたは取り外した場合の故障や損害について、弊社では責任を負うことはできません。
  RAMモジュールの種類や取り付け方法をご確認のうえ、正しい方法で装着してください。
- RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。
  取り付け／取り外しのときは、本体内部の部品や端子などに触れないでください。
- RAMモジュールの取り付け／取り外しは、本体の電源を切り、ACアダプターやバッテリーパックを取り外してから行ってください。
- ネジの溝をつぶさないよう、ネジの大きさに合ったドライバーをお使いください。

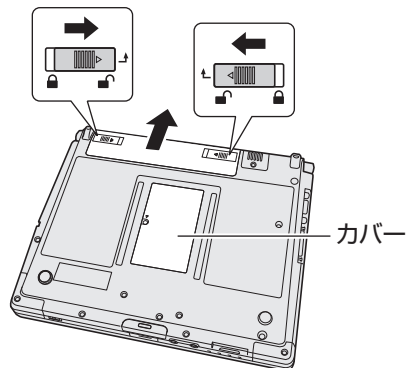
RAMモジュールの取り付け

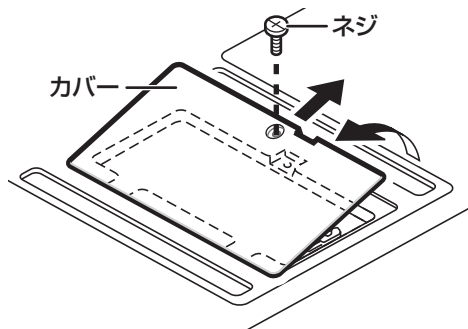
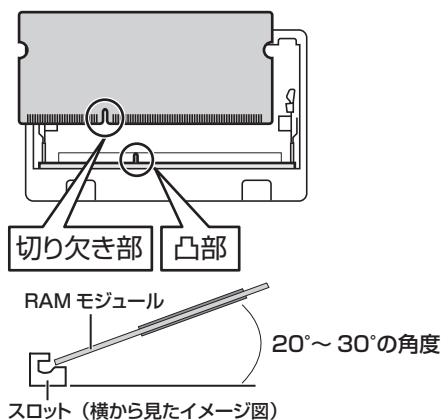
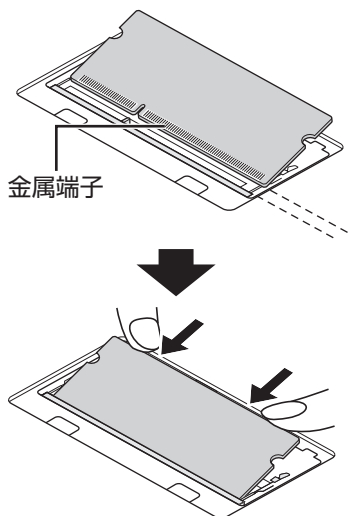
1 **RAMモジュール（別売り）を用意する。**

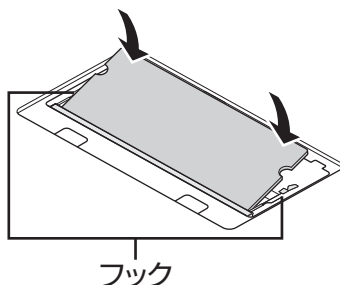
2 **パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。**

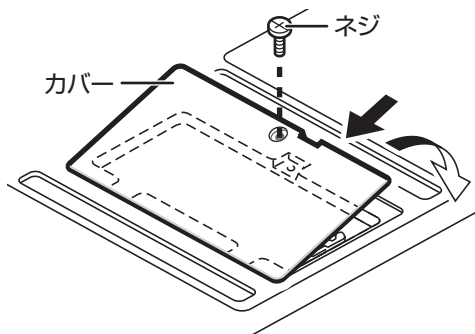
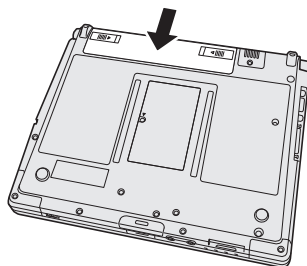
スタンバイ／休止状態のときに、取り付け／取り外しを行わないでください。

3 **本体を裏返す。**

4 **バッテリーパックを取り外す。（➡20ページ）**

5 **ネジを取り外し、カバーを引き抜いて外す。**

拡張メモリースロットのカバーの位置は、手順４をご覧ください。

6 スロットの凸部とRAMモジュールの切り欠き部の向きを合わせて持ち、スロットと平行にRAMモジュールを軽く合わせる。

7 金属の端子が見えなくなるまで、スロットと平行にしっかりと挿し込む。

- 挿し込みにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きを確認してください。
- しっかりと挿し込まずに次の手順を行うと、スロットが破損する場合があります。

8 左右のフックでロックされるまで倒す。

倒しにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きや挿し込み具合を確認してください。

9 カバーを取り付け、ネジで固定する。

10 バッテリーパックを取り付ける。（➡20ページ）

11 バッテリーパックがしっかりと固定されていることを確認する。

左右のラッチは、バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。左右のラッチが正しくロックされていることを確認してください。ロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。

12 ACアダプターを取り付ける。

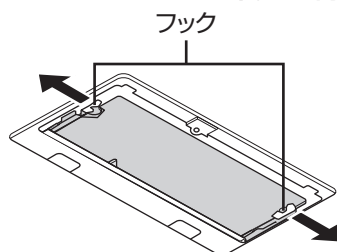
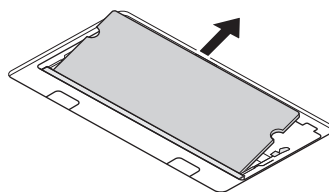
メ モ

● RAMモジュールの挿し方を間違えたり、推奨以外のRAMモジュールを取り付けたりすると、パソコンの電源を入れても画面に何も表示されない場合があります。その場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認して、正しく取り付け直してください。
● 増設した後の使用可能メモリーのサイズは、セットアップユーティリティの「情報」メニューの[使用可能メモリー]（➡32ページ）で確認できます。

RAMモジュールの取り外し

「RAMモジュールの取り付け」の手順2～5の後、次の手順で取り外してください。

1 左右のフックを外側にゆっくりと広げる。

RAMモジュールが斜めに持ち上がります。

2 ゆっくりとスロットから取り外す。

3 カバーとバッテリーパック、ACアダプターを取り付ける。（➡27ページ「RAMモジュールの取り付け」の手順9～12）

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、本機の動作環境（パスワードや起動ドライブなど）を設定するためのユーティリティです。以下の６メニューがあります。
「情報」、「メイン」、「詳細」、「起動」、「セキュリティ」、「終了」
モデルによって表示される項目が異なります。

セットアップユーティリティを起動する／終了する

起動する

1. 本機の電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。
2. 本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押す。

3. パスワードを設定している場合は、下の画面が表示されるので、ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力し、Enterを押す。

メモ

- F2またはDelを押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。Windowsを終了して再起動してください。
  また、[Boot Mode]を[高速]に設定した場合、「Panasonic」起動画面は表示されません。F2またはDelを押したまま電源を入れてください。
- セットアップユーティリティの画面を内部LCDと外部ディスプレイの両方に表示することはできません。
  Fn＋F3を押して表示先を切り替えると、外部ディスプレイまたは内部LCDのどちらかに表示されます。
  外部ディスプレイに正しく表示できない場合は、内部LCDに表示してください。
- パスワードを設定していても[起動時のパスワード]が[無効]になっている場合、パソコン起動時にパスワードの入力は不要です。
  また、[復帰時のパスワード]が[無効]になっている場合、スタンバイ／休止状態からの復帰時にパスワードの入力は不要です。
  セットアップユーティリティを起動したときは、パスワードの入力が必要です。

終了する

1. ←→またはEscを押して、「終了」メニューを表示する。
2. [設定を保存して再起動]または[設定を保存しないで再起動]を選んでEnterを押す。
3. [はい]を選んでEnterを押す。

ユーザーパスワードで制限される項目

「起動する」(➡29ページ)の手順３で入力したパスワードの種類によって、表示/設定できる項目が異なります。

本機を複数の人で使う場合は、スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を設定します。パソコンに詳しくない人などには、ユーザーパスワードだけを教えておきます。これにより、設定を変更されるのを防ぐことができます。

● **スーパーバイザーパスワードを入力した場合**

セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

● **ユーザーパスワードを入力した場合**

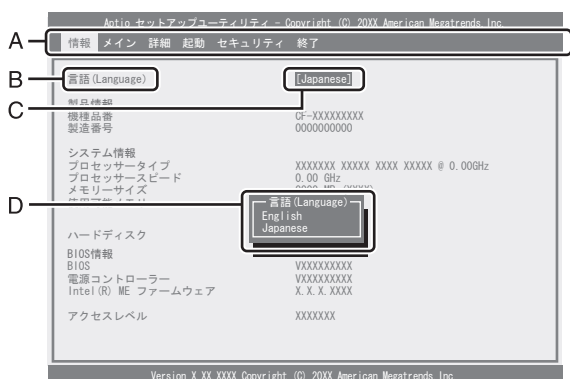
次のような制限があります(可能:○、不可能:×)。また、各項目の設定値を工場出荷時の値(パスワード、システム時間、システム日付を除く)に戻す F9 は使えません。

メニュー	参照	変更
「詳細」メニュー	○	×
「起動」メニュー:[起動オプション]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[Setup Utility 表示]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[Boot Popup Menu]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[起動時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[復帰時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[休止復帰時の起動デバイス]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[スーパーバイザーパスワード設定]	×	×
「セキュリティ」メニュー:[ハードディスク保護]	×	×
「セキュリティ」メニュー:[ユーザーパスワード保護]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[ユーザーパスワード設定]	○	○※1
「セキュリティ」メニュー:[内蔵セキュリティ(TPM)] (TPM搭載モデルのみ)	×※2	×※2
「セキュリティ」メニュー:[AMT設定] (インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーが使用できるモデルのみ)	×※2	×※2
「終了」メニュー:[デフォルト設定]	×	×
「終了」メニュー:[デバイスを指定して起動]	×※3	×※3

※1 [ユーザーパスワード保護]が[保護しない]に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更が可能。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。

※2 サブメニューの[設定サブメニュー保護]が[保護しない]に設定されている場合は、設定サブメニューの参照/変更が可能([設定サブメニュー保護]を除く)。

※3 [Boot Popup Menu]が[有効]に設定されている場合は選択が可能。

セットアップユーティリティを操作する

A. [←][→]を押してカーソルを移動させ、メニューを選ぶことができます。

B. 選択できる項目が複数ある場合は[↑][↓]を押して項目を選ぶことができます。選択された項目は色が変わります。

C. 反転表示されている項目は[Enter]を押してサブメニューを表示させることができます。

D. サブメニューが表示されているときは[↑][↓]を押して項目を選ぶことができます。

設定に使うキー

[→][←] ：「情報」「メイン」「詳細」「起動」「セキュリティ」「終了」の各メニューを選択。

[↑][↓] ：カーソルを上下に移動(項目を選ぶときに使用)。

[Enter] ：[↑][↓]で項目を選んだ後に設定できる各項目のサブメニューを表示。

[F5] ：各項目の前候補を選択(設定値の変更時に使用)。

[F6] ：各項目の次候補を選択(設定値の変更時に使用)。

[F1] ：一般のヘルプを表示([OK]を選ぶとヘルプの画面を閉じる)。

[F9] ：各項目の設定値を工場出荷時の値(パスワード、システム時間、システム日付を除く)に戻す。

[F10] ：設定を保存して再起動。

[Esc] ：サブメニューの終了、または「終了」メニューを表示。

「情報」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
言語（Language）	セットアップユーティリティの言語を選択します。	English Japanese
製品情報 機種品番 製造番号 システム情報 プロセッサータイプ プロセッサースピード メモリーサイズ 使用可能メモリー ハードディスク BIOS 情報 BIOS 電源コントローラー Intel(R) ME ファームウェア 累積使用時間 アクセスレベル	情報の表示・確認用です。項目を選択したり変更したりすることはできません。	

「メイン」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
システム日付	Tabでカーソルを年、月、日に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6で数値の修正ができます。	[xxxx/xx/xx(x)]
システム時間	24時間制です。Tabでカーソルを時、分、秒に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6で数値の修正ができます。	[xx:xx:xx]

メイン設定

メニュー	働き	選択項目
フラットパッド	ホイールパッドを使う（有効）/使わない（無効）を設定します。	無効 有効
Fn/左Ctrlキー	内部キーボードのFnとCtrl（左側）の機能を入れ換えず工場出荷時のまま使う（標準）/入れ換えて使う（入れ換え）を設定します。 Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティでも設定することができます。 入れ換えた場合、Fn（「Ctrl」と印刷されている左側のキー）とCtrl（右側）のキーを押しながらもう1つのキーを押す操作はできません。 キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。	標準 入れ換え

メニュー	働き	選択項目
ディスプレイ	Windowsが起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、[外部ディスプレイ]を選んでいても、すべての情報が内部LCDに表示されます。Windows起動後は、デスクトップの何もないところを右クリックして[グラフィック プロパティ]で設定した内容が有効になります。	外部ディスプレイ 内部LCD

メニュー	働き	選択項目
充電中バッテリー状態表示	バッテリーパックの充電中にバッテリー状態表示ランプを点灯する／明滅するを設定します。	点灯 明滅
LED輝度	電源状態表示ランプの明るさを設定します。[連動]では、内部LCDの明るさに合わせてランプの明るさが変わります。[減光]では常に暗くなります。	連動 減光

「詳細」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

CPU設定

メニュー	働き	選択項目
データ実行防止機能	データ実行防止機能（プログラムのメモリー（バッファー）を悪用した不正プログラムの実行を阻止する機能）を使う（有効）／使わない（無効）を設定します。 通常は[有効]に設定しておいてください。	無効 有効
Hyper Threading Technology	Hyper Threading Technologyを使わない（無効）／使う（有効）を設定します。	無効 有効
Core Multi-Processing	Core Multi-Processing（複数のプロセッサーコアによる処理の分散）を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。 工場出荷時のWindows XP使用時は[有効]のままお使いください。[無効]に設定した場合の動作はサポートしていません。	無効 有効
Intel(R) Virtualization Technology	Intel(R) Virtualization Technologyを使用しない(無効)/使用する（有効）を設定します。[有効]に設定すると、Intel(R) Virtualization Technologyに対応した仮想化ソフトウェアを使用する場合に、CPUの負荷を軽減することができます。	無効 有効
Intel(R) Trusted Execution Technology	TPM搭載モデルでインテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーが使用できるモデルのみ表示されます。 Intel(R) Trusted Execution Technologyを使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効

周辺機器設定

メニュー	働き	選択項目
LAN	内蔵LANの機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
Power On by LAN機能	LAN経由で本機の電源を入れるPower On by LAN機能を使用しない（禁止）／使用する（許可）を設定します。 LAN経由で電源を入れた場合、起動時のパスワード入力画面は表示されなくなります。	禁止 許可
無線LAN	内蔵無線LANの機能を使用する（有効)/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
PCカードスロット	PCカードスロットを使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
SDスロット	SDメモリーカードスロットを使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
USBポート	本機のUSBポートを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
レガシー USB	Windowsが起動する前に、USBキーボード、USBフロッピーディスクドライブおよびUSB CD/DVDドライブなどを本機に認識させる機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。[USBポート]が[有効]に設定されている場合のみ、効果があります。 [無効]に設定した場合でも、USBキーボードを使ってセットアップユーティリティを操作することができます。	無効 有効

「起動」メニュー

メニュー	働き	選択項目
Boot Mode	Boot Modeを高速にする（高速）/高速にしない（通常）を設定します。[高速]に設定すると、本機の電源を入れた直後に表示される「Panasonic」起動画面を省略してWindowsの起動画面が表示されるまでの時間を短縮します。「Panasonic」起動画面が表示されませんので、セットアップユーティリティを起動する場合は、F2またはDelを押したまま電源を入れてください。	高速 通常
起動オプション優先度	**オペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定します。** 優先順位を変更する場合、まず設定したい優先順位を選択し、次に対象のデバイスを選択します。 例：ハードディスクから起動する場合 ① ↑↓で[起動オプション #1]を選択し、Enterを押す。 ② ↑↓で[ハードディスク]を選択し、Enterを押す。 同じ操作で他の起動オプションにもデバイスを設定することができます。[起動オプション #1]に設定されているデバイスが認識できない場合は、[起動オプション #2]に設定されているデバイスから起動します。	[ハードディスク] [LAN] [USBフロッピー] [USBハードディスク] [USB CD/DVDドライブ] [無効]

メモ

- USBフロッピーディスクドライブから起動する場合は、当社製外部FDD（品番：CF-VFDU03U）のご使用をお勧めします。
- 外付けのCD/DVDドライブから起動するときなど、一度だけ通常と異なる優先順位で起動する場合は、「終了」メニューの[デバイスを指定して起動]の下に表示されているデバイスを選んでEnterを押してください。また、パソコン起動時にもデバイスを選択することができます（下記）。
- オペレーティングシステムを起動するデバイスは、次の手順でパソコン起動時にも選択することができます。
  あらかじめ「セキュリティ」メニューで[Boot Popup Menu]を[有効]に設定しておく必要があります。
  ①本機の電源を入れる。
  ②本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されたらすぐにEscを押す。
  ③「起動するデバイスを選択してください」画面でデバイスを選び、Enterを押す。
- USBポートに接続している機器から起動する場合、次の設定になっていることを確認してください。
  - 「詳細」メニューの[USBポート]が[有効]
  - 「詳細」メニューの[レガシー USB]が[有効]
  - 「起動」メニューの[Boot Mode]が[通常]

「セキュリティ」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

起動時の表示設定

メニュー	働き	選択項目
Setup Utility表示	起動後すぐに表示される「Panasonic」起動画面の下に[Press F2 for Setup/F12 for LAN]というメッセージを表示させる（有効）/表示させない（無効）を設定します。	無効 有効
Boot Popup Menu	起動後すぐに[Esc]を押すと表示できる起動デバイスの選択画面を表示させない（無効）/表示させる（有効）を設定します。	無効 有効
起動時のパスワード	パソコンの起動時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要とする（有効）/必要としない（無効）を設定します。	無効 有効
復帰時のパスワード	スタンバイ/休止状態からの復帰時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要としない（無効）/必要とする（有効）を設定します。[起動時のパスワード]が[有効]に設定されている場合のみ設定できます。	無効 有効
休止復帰時の起動デバイス	休止状態からの復帰時の起動デバイスを内蔵ハードディスクのみとするか、内蔵ハードディスクよりも優先度の高いその他のデバイスからの起動を試行するかを設定します。	優先デバイスを試行 ハードディスクのみ

メニュー	働き	選択項目
スーパーバイザーパスワード設定	セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、本機を起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード]を[有効]に設定してください。	サブメニュー表示
ハードディスク保護	ハードディスクを別のパソコンに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないように保護する（有効）/保護しない（無効）を設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可する（保護しない）/許可しない（保護する）を設定します。	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定	本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。また、セットアップユーティリティの起動時に、スーパーバイザーパスワードでなくユーザーパスワードを入力すると、一部の設定は変更できません。	サブメニュー表示

メニュー	働き	選択項目
内蔵セキュリティ（TPM）	TPM搭載モデルのみ表示されます。 内蔵セキュリティチップ（TPM）の設定に関するサブメニューを表示します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 • 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[内蔵セキュリティ（TPM）]を表示する（保護しない）/表示しない（保護する）を設定します。 • TPMの状態 内蔵セキュリティチップ（TPM）を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。 • 待機中のTPM操作 [所有者情報の初期化]を選択すると、内蔵セキュリティチップ（TPM）内に保持された所有者情報を初期化し、内蔵セキュリティチップ（TPM）により保護されたデータを復元または利用できないようにします。本機を廃棄・譲渡する際に使用してください。 • 現在のTPMの状態 現在のTPMの設定が表示されます。項目を選択したり変更したりすることはできません。 [Esc]を押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

セットアップユーティリティ

メニュー	働き	選択項目
AMT設定	インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーに関するサブメニューを表示します(インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーが使用できるモデルのみ表示されます)。インテル®アクティブ・マネジメント・テクノロジーは、インテル®アクティブ・マネジメント・テクノロジー対応の市販のアプリケーションソフトと組み合わせて使うことで、ネットワーク上のパソコンの電源がオフの状態でも、ネットワーク管理者やシステム管理者がリモートでそのパソコンの情報を統合的に管理することができる機能です。 インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを使用するには、設定が必要です。設定の際は、ネットワーク管理者またはシステム管理者に必ず確認してください。また、別途インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー対応の市販のアプリケーションソフトも必要になります。 ネットワーク管理者およびシステム管理者がいない場合は、インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを使用しないことをお勧めします。 詳しくは、『操作マニュアル』「(レッツノート活用)」の「セットアップユーティリティ」をご覧ください。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 • 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[AMT設定]を表示する(保護しない)/表示しない(保護する)を設定します。 • Intel(R) AMT インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを使用する(有効)/使用しない(無効)を設定します。 インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを使用しない場合は、[有効]に設定しないでください。[有効]に設定すると、第三者がリモートでパソコンを検出し、データなどにアクセスする可能性があります。 • Intel(R) Anti-Theft Technology この項目は変更できません。 • Intel(R) ME Setup起動 Ctrl+Pを押したときにIntel(R) Management Engineのセットアップを起動する(有効)/起動しない(無効)を設定します。 • 起動タイムアウト マネジメントサーバーへの接続を確立するときに、タイムアウトになるまでの時間を秒単位(1 ~ 255)で設定します。[Intel(R) ME Setup起動]が[有効]の場合のみ設定できます。 • AMT設定のリセット Intel(R) ME Setupにより設定された各項目を工場出荷時の状態に戻します。 Escを押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

セットアップユーティリティでパスワードを設定する

セットアップユーティリティでパスワードを設定すると、セットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力が必要になります。また、[起動時のパスワード]を[有効]に設定しておくと、電源を入れた直後にパスワード入力が必要になるため、第三者の不正な利用を防ぐことができます。
設定する前に、必ず『操作マニュアル』「(セキュリティ)」の「パソコン起動時/リジューム時のパスワードを設定する」をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

2 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。

使ってみる

3 ←→で［セキュリティ］を選ぶ。

スーパーバイザーパスワードを設定する場合：

↑↓で［スーパーバイザーパスワード設定］を選び、Enterを押す。

ユーザーパスワードを設定する場合：

↑↓で［ユーザーパスワード設定］を選び、Enterを押す。

●ユーザーパスワードを設定するには、まずスーパーバイザーパスワードを設定する必要があります。

4 ［新しいパスワードを入力してください］の［　　　　］の中に新しいパスワードを入力し、Enterを押す。

●入力したパスワードは画面には表示されません。

●パスワードに使える文字は、半角の英数字とスペースで最大32文字です。

- 大文字、小文字の区別はありません。
- 数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
- ShiftやCtrlなどのキーと組み合わせて入力することはできません。

5 ［新しいパスワードを確認してください］の［　　　　］の中に手順4で入力したパスワードを再度入力し、Enterを押す。

6 F10を押し、［はい］を選んでEnterを押す。

重 要

パスワードは忘れないようにしてください。

●**お客さまが設定されたパスワードなど、セキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。**
パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。

●**スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合**
有償での修理が必要になります。修理窓口へお問い合わせください。お持ち込みいただき、数日間お預かりさせていただくことになります。セットアップユーティリティの設定は工場出荷時の状態に戻ります。また、ハードディスク保護を有効に設定している場合、修理でも無効にできませんので、パスワードは絶対に忘れないようにご注意ください。

●**ユーザーパスワードを忘れてしまった場合**
セットアップユーティリティを起動してパスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力すると、ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
スーパーバイザーパスワードを知らない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した人にご相談ください。

●**本機の修理を依頼される場合**
スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を無効にしておいてください。

ハードディスク保護を設定する

セットアップユーティリティのパスワードを設定しておくと、パスワードを知らない第三者がパソコンを使うことはできなくなりますが、パソコンを分解し、内蔵のハードディスクを取り外して他のパソコンに取り付けると、ハードディスク内に保存されている情報が読まれてしまうおそれがあります。

ハードディスク保護は、データの完全な保護を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

1 セットアップユーティリティを起動する。（➡36ページ手順1と2）

パスワードの入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は、次の手順2で設定してください。

2 ←→で［セキュリティ］を選ぶ。

スーパーバイザーパスワードを設定する場合：

① ↑↓で［スーパーバイザーパスワード設定］を選び、Enterを押す。
② ［新しいパスワードを入力してください］の［　　　］の中に新しいパスワードを入力し、Enterを押す。
③ ［新しいパスワードを確認してください］の［　　　］の中に手順②で入力したパスワードを再度入力し、Enterを押す。

3 ↑↓で［ハードディスク保護］を選び、Enterを押す。

4 ↑↓で［有効］を選び、Enterを押す。

5 確認の画面でEnterを押す。

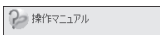
6 F10を押し、［はい］を選んでEnterを押す。

起動時に「ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています」と表示された場合は、セットアップユーティリティを起動し、設定内容をハードディスク保護を設定したときと同じ内容に設定し直してください。

「終了」メニュー

メニュー	働き
設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動します。
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存しないで再起動します。

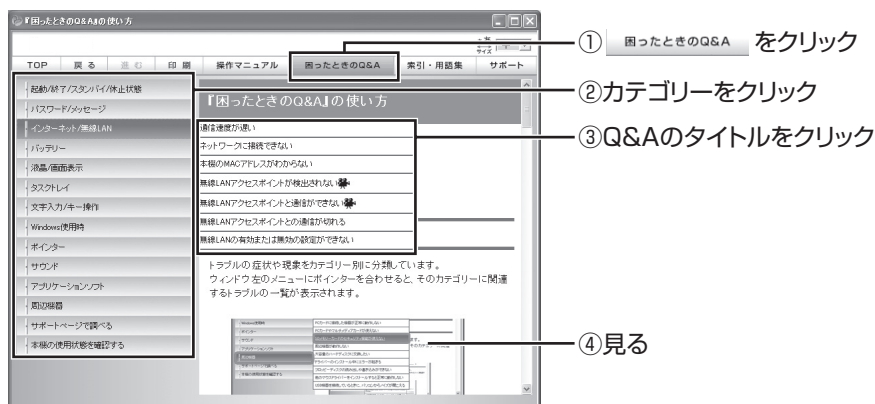
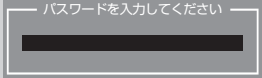
保存オプション

メニュー	働き
設定を保存する	設定内容を保存します。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。

メニュー	働き
デフォルト設定	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。

メニュー	働き
デバイスを指定して起動	OSを起動させるデバイスを指定します。次回起動時のみ選択したデバイスから起動します。 グレー表示になって選べない場合は、F10を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。

メニュー	働き
診断ユーティリティ	PC-Diagnosticユーティリティを起動し、ハードウェアの診断を行います。（➡47ページ） グレー表示になって選べない場合は、F10を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。

起動/終了/スタンバイ/休止状態のQ&A

本機が起動しない、動かないなどのトラブルが発生した場合は、39 ～ 54ページで解決方法を確認してください。
解決方法が見当たらない場合は、スタート - 操作マニュアル をクリックして『困ったときのQ&A』も確認してください。

質　問	対　策
本機が起動しない/バッテリー状態表示ランプ が点灯しないときは?	ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが正しく取り付けられているか確認してください。 ➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』
	バッテリーパックがしっかりと固定されていることを確認してください。
	RAMモジュールを増設または交換した場合は、RAMモジュールを取り外して再度電源を入れてください。RAMモジュールを外すと電源が入る場合は、RAMモジュールの問題が考えられます。 ●本機の電源を切り、推奨のRAMモジュールであることを確認し、正しく取り付け直してください。 ●RAMモジュールの仕様を確認してください。 RAMモジュールについては、「メモリー容量を増やす」(➡26ページ)または「仕様」(➡56ページ)をご覧ください。
	CPUの温度が上がっている可能性があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
	電源コードを抜き、1分以上待ってから再度接続してください。 ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。電源コードを接続し直してもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
Windowsを起動すると、チェックディスク(CHKDSK)が始まるときは?	SD/SDHCメモリーカードへの書き込み中に、カードを取り出しませんでしたか?チェックディスクが終了するまでそのままお待ちください。 ➡『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「SD/SDHCメモリーカードを使う」
Administratorのユーザーアカウントでログオンしたいときは?	「Administrator」のアカウントでログオンするには、ログオン画面で Ctrl + Alt + Del を2回押し、[ユーザー名]に[Administrator]と入力します。パスワードを設定していた場合はパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。

起動 / 終了 / スタンバイ / 休止状態のQ&A

質　問	対　策
電源は入るがWindowsが正常に起動しないときは？	電源状態表示ランプ⏻および⏾が点灯している場合は、ハードディスク状態表示ランプが点灯していないなど、ハードディスクにアクセスしていないことをご確認のうえ、電源スイッチを４秒以上押して電源を切ってください。その後、再度電源を入れてください。
	セットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。（➡31ページ）
	USBメモリーなど、周辺機器を接続している場合は、周辺機器を取り外してください。 周辺機器を取り外すと起動できた場合は、周辺機器の問題が考えられます。周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	次の手順で、セーフモードで起動し、エラーの内容を確認してください。 ① 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）に F8 を押し続ける。 ②「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら指を離す。 ③ ↑ ↓ で[セーフモード]を選ぶ。 ④ Enter を押し、画面の指示に従って操作する。
「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示されたときは？	システムを起動できないフロッピーディスクが、フロッピーディスクドライブにセットされていないか確認してください。セットされている場合は、取り出してから、何かキーを押してください。
	USB機器を接続している場合は、USB機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシー USB]を[無効]に設定してください。 セットアップユーティリティの起動方法：➡29ページ
	設定しても同じメッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることがあります。
フロッピーディスクから起動できないときは？	『困ったときのQ&A』「起動 / 終了 / スタンバイ / 休止状態」の「フロッピーディスクから起動できない」をご覧ください。
ユーザー名を変更したらログオンできなくなったときは？	変更前のユーザー名でログオンしてみてください。 ユーザー名は「名前」と「フルネーム」という２種類の名前で管理されています。
Windows起動時に音が途切れるときは？	Windowsの処理状況によっては、Windows起動時に音が途切れる場合があります。 次の手順で起動時の音が鳴らないように設定することができます。 ① [スタート]-[コントロールパネル]-[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]-[サウンドとオーディオデバイス]をクリックし、[サウンド]をクリックする。 ② [プログラム イベント]の[Windowsの起動]をクリックし、[サウンド]を[（なし）]に設定する。 ③ [OK]をクリックする。

質　問	対　策
Windowsの起動や動作が遅いときは？	メモリー容量を増やしてください。
	お買い上げ後にインストールした常駐アプリケーションソフトがある場合は、そのアプリケーションソフトの常駐を解除してください。
	ディスクデフラグツールを実行してください。
	起動が遅い場合は、セットアップユーティリティで[Boot Mode]を[高速]に設定してください。ただし、[高速]に設定すると、本機の電源を入れた直後に表示される「Panasonic」起動画面が表示されなくなります。 • セットアップユーティリティを起動する場合は、F2またはDelを押したまま電源を入れてください。 • PC-Diagnosticユーティリティを起動する場合は、セットアップユーティリティの「終了」メニューの[診断ユーティリティ]を選んでください。 また、次の操作ができなくなります。 • USBポートに接続しているUSB機器からの起動/LAN経由での起動 • 外付けキーボードでのセットアップユーティリティの操作およびスーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードの入力
	なお、動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。
電源が切れない（Windowsが終了しない）ときは？	周辺機器を接続している場合は、取り外してからWindowsを終了してください。 周辺機器を取り外すと終了できた場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	アプリケーションソフトをインストールした後で電源が切れなくなった場合は、[スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]をクリックし、ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトを削除してください。 削除すると終了できた場合は、アプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。
	次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。 ① 外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。 ② [スタート]-[マイコンピュータ]をクリックし、[ローカルディスク（C:）]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。 ③ [ツール]をクリックして、[チェックする]をクリックする。 ④ [チェックディスクのオプション]で[ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]にチェックマークを付け、[開始]をクリックする。 ⑤「次回のコンピュータの再起動後に、このディスクの検査を実行しますか？」というメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。 ⑥ Windowsを再起動する。 チェックディスクにかかる時間は、ドライブの容量やファイルの内容、[チェックディスクのオプション]の設定により異なります。
スタンバイ・休止状態からリジューム（復帰）しないときは？	次のような場合は、電源スイッチを押して電源を入れてください。なお、保存していないデータは失われます。 • スタンバイ状態のとき、ACアダプターおよびバッテリーパックを取り外した。 • 周辺機器の取り付け/取り外しを行った。 • 電源スイッチを４秒以上押して強制終了した。
	バッテリーの残量が少ない、または完全に放電している可能性があります。ACアダプターを接続し、リジュームしてください。

パスワード/メッセージのQ&A

質　問	対　策
パスワードを入力しても再度入力を求められるときは?	1ランプが点灯している場合は、NumLkを押してテンキーモードを解除してから入力してください。
	Aランプが点灯している場合は、Shiftを押しながらCaps Lockを押してキャップスロックを解除してから入力してください。
キーを押しても文字が入力されないときは?	Fnキーがロックされている場合があります。Fnを1回押してロックを解除してから入力してください。
「パスワードを入力してください」が表示されたときは? パスワードを入力してください	スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合は有償での修理が必要となります。ご相談窓口にご相談ください。 ユーザーパスワードを忘れてしまった場合は、セットアップユーティリティを起動して、パスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力してください。 ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
パスワードの入力画面が表示されないときは?	スタンバイ・休止状態からリジュームしたときにパスワードの入力画面を表示させるには、次の設定を行ってください。 ●セットアップユーティリティのパスワードの入力画面を表示するには セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、[復帰時のパスワード]を[有効]に設定します。 ●Windowsパスワードの入力画面を表示するには ① [スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]をクリックする。 ② 変更するアカウントをクリックして、パスワードを設定する。 お使いのモデルによっては、[ユーザーアカウント]を再度クリックする操作が必要です。 ③ [コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]をクリックし、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]をクリックしてチェックマークを付ける。
コンピューターの管理者のパスワードを忘れたときは?	「ようこそ」画面でCtrl+Alt+Delを2回押し、[ユーザー名]に[Administrator]と入力してログオンした後、パスワードを設定し直してください。 パスワードリセットディスクを作成していた場合、パスワード入力失敗後に表示されるメッセージに従って、パスワードを再設定してください。
Windowsが起動せず、数字またはメッセージが表示されたときは?	システムの起動エラーです。「エラーコードが表示されたら」(➡54ページ)の内容に従って操作してください。
	「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された場合は、40ページをご覧ください。

バッテリーのQ&A

質　問	対　策
カタログの記載よりもバッテリーの駆動時間が短いときは?	カタログや本書の「仕様」(➡57ページ)などに記載されているバッテリーの駆動時間は、「JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)」に基づき測定された数値です。 バッテリーの駆動時間は、画面を明るくして使っているときなど、使用環境やバッテリーのエコノミーモード(ECO)の有効/無効によって異なります。(➡『操作マニュアル』「(バッテリー)」の「駆動時間について」)。
バッテリーパックの交換時期(寿命)を知りたいときは?	バッテリーパックを正しく充電してもバッテリーの駆動時間が著しく短い場合は、バッテリーパックの寿命と考えられます。新しいバッテリーパックと交換することをお勧めします。 PC情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定していると、バッテリーパックの状態が定期的に確認され、お知らせする情報がある場合は画面右下に[バッテリーに関するお知らせがX件あります]という小ポップアップ画面が表示されます。 小ポップアップ画面をクリックしてバッテリーに関する情報(バッテリー残量表示補正およびバッテリーの消耗/交換時期)を確認することができます(➡『操作マニュアル』「(レッツノート活用)」の「パナソニックからの必要な情報を確認する」)。
バッテリー状態表示ランプ が赤色に点灯しているときは?	バッテリーの残量が少なくなっています(残量約9%以下)。 ACアダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。ACアダプターがない場合は、すぐにデータを保存し、Windowsを終了してください。その後、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
バッテリー状態表示ランプ が点滅しているときは?	赤色に点滅している場合は、すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックとACアダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
	オレンジ色に点滅している場合は、次のどちらかの状態が考えられます。 ●バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。 ●アプリケーションソフトや周辺機器(USB機器など)が多くの電力を消費し電力不足になっているため、充電できない状態です。起動しているアプリケーションソフトを終了し、周辺機器を取り外します。電力不足が解消されれば自動的に充電が始まります。
バッテリー状態表示ランプ が明滅しているときは?	バッテリーの充電中です。 セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[充電中バッテリー状態表示]を[明滅]に設定すると、点灯状態が明るくなったり少し暗くなったり(明滅)します。
「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」画面が表示されたときは?	バッテリー残量表示補正を実行した後、「プログラムの終了」画面で[キャンセル]をクリックした可能性があります。[キャンセル]をクリックするとWindowsの終了処理が中止され、次回起動時に再びバッテリー残量表示補正が始まります。 ●Windowsを起動するには、電源スイッチを押して電源を切り、もう一度電源を入れてください。

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
ホイールパッド使用時ポインターが動かないときは？	セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]が[有効]に設定されているか確認してください。
	キーボードを操作し、次の手順で外部マウスのドライバーを削除してください。インストールされていると、ホイールパッドが使えないことがあります。 ① ⊞、Rの順に押し、「devmgmt.msc」と入力してEnterを押す。 ② Tabを押し、↓を数回押して[マウスとそのほかのポインティングデバイス]を選び、→を押す。 ③ [Synaptics PS/2...]以外の名前が表示されている場合、外部マウスがインストールされているので、↓で外部マウスのドライバーを選び、Del、Enterの順に押し削除する。 ④ 再起動確認の画面で[はい]を選び、Enterを押す。 再起動確認の画面が表示されない場合は、⊞、Uの順に押し、↑↓←→で[再起動]を選んでEnterを押してください。 キーボードで操作できない場合は、電源スイッチを４秒以上押して電源を切った後、電源を入れてください。 ⑤ Synapticsのドライバーを再インストールする。 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックし、「c:¥util¥drivers¥mouse¥setup.exe」と入力して[OK]をクリックします。以降、画面の指示に従ってインストールしてください。
	USBマウスヘルパーをセットアップしている場合、USBマウス接続時はホイールパッドでポインターは操作できません。 • ホイールパッドをお使いになる場合は、USBマウスを取り外してください。 • マウス接続用のPS/2ポートを内蔵したUSBキーボードを接続した場合、USBキーボードにマウスを接続していなくても、ホイールパッドは無効になります。 • USBマウスヘルパーをセットアップした状態で、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[マウス]-[デバイス設定]の設定を変更すると、USBマウスヘルパーをアンインストールした後、ホイールパッドが使えなくなる場合があります。その場合は、次の手順で設定を変更してください。 ① USBマウスを接続する。 ② [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。 ③ [マウス]をクリックする。 ④ [デバイス設定]をクリックする。 ⑤ [有効]をクリックし、[OK]をクリックする。
ポインターが勝手に動くときは？	「ホイールパッドの感度を調節する」（➡『操作マニュアル』「（ホイールパッド）」）をご覧になり、ホイールパッドの感度を調節してください。
	外部マウスのドライバーがインストールされていないことを確認してください（上記の「ホイールパッド使用時ポインターが動かないときは？」の２つ目の項目の手順①～④をご覧ください）。

質　問	対　策
マウス接続時ポインターが動かないときは？	マウスが正しく接続されているか確認してください。
	接続したマウスのドライバーをインストールしてください。 外部マウスのドライバーをインストールすると、ホイールパッドが使えないことがあります。 詳しくは、『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「外部マウスを使う」をご覧ください。
	セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]を[無効]に設定してください。
	不具合などが修正された最新のドライバーがマウスのメーカーから配布されている場合があります。 詳しくは、お使いのマウスのメーカーにお問い合わせください。
マウス接続時ホイールパッドを無効にするには？	『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「外部マウスを使う」をご覧になり、USB マウスヘルパーをセットアップしてください。常に外部マウスで操作する場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]を[無効]にしてください。
緑、赤、青のドットが残ったり、正しい色が表示されなかったりするときは？	**これは、故障ではありません。** カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（緑、赤、青色）するものがあります。有効画素が99.998%以上、画素欠けなどが0.002%以下の場合は、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
一瞬真っ黒になるときは？	省電力設定ユーティリティの[画面表示の省電力機能]を有効に設定しているときに、次のような操作を行うと画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。そのままお使いください。 • Fn + F1 / Fn + F2 で画面の明るさを調整する。 • ACアダプターを抜き挿しする。 動画再生ソフトやグラフィックのベンチマークソフトなどをお使いで、エラー画面が表示されたりソフトが正しく動作しなくなったりした場合は、『困ったときのQ&A』「アプリケーションソフト」の「アプリケーションソフトなどが正しく動作しない」をご覧ください。
何も表示されないときは？	電源状態表示ランプ⏻および⓵が点灯している場合は、ディスプレイの電源が切れています。Ctrl や Shift など動作に影響のないキーを押してください。選択に使うキー（Enter、　　　（スペースキー）、Esc、Y、N や数字キーなど）は使わないでください。
	電源状態表示ランプ⏻および⓵が点滅または消灯している場合は、スタンバイまたは休止状態になっています。電源スイッチを押してください。
	画面の表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。Fn + F3 を押して表示先を切り替えてください。Fn + F3 を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り替わったことを確認してから押してください。
	画面が暗くなっている可能性があります。Fn + F2 を押して画面を明るくしてください。（➡16ページ）
	RAM モジュールを増設または交換した場合は、RAM モジュールが正しく取り付けられていません。 電源を切り、RAM モジュールが推奨品であることを確認し、正しく取り付け直してください。それでも画面に何も表示されない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
暗い/暗くなったときは？	**Fn + F2を押してください。明るくなります。** ➡ 16ページ
残像が表示されるときは？	同じ画面を長時間表示させていると残像になることがあります。別の画面を表示してください。
画面が乱れるときは？	解像度/色数を変更したり、本機の動作中に外部ディスプレイの取り付け/取り外しを行ったりすると、画面が乱れることがあります。本機を再起動してください。
	内部LCDのリフレッシュレートが40ヘルツになっている可能性があります。次の方法でリフレッシュレートを変更してください。 ① [スタート] - [コントロールパネル]をクリックする。 ② 左側の[関連項目]の[コントロールパネルのその他のオプション]-[Intel(R) Graphics and Media]-[一般設定]をクリックし、内蔵ディスプレイの[リフレッシュレート]が[40Hz]になっている場合は、[60Hz]に変更し、[OK]をクリックする。
電源を入れた直後に表示されるはずの「Panasonic」起動画面が表示されないときは？	「Panasonic」起動画面を表示するには、セットアップユーティリティの「起動」メニューで[Boot Mode]を[通常]に設定してください。 [高速]に設定していると、「Panasonic」起動画面は表示されません。 [高速]に設定したままセットアップユーティリティを起動するには、F2またはDelを押したまま電源を入れてください。
	外部ディスプレイによっては、「Panasonic」起動画面が正しく表示されない場合があります。その場合は、本機の電源を切って外部ディスプレイを本機から取り外し、再度本機の電源を入れてください。 本機に外部ディスプレイを接続している状態で「Panasonic」起動画面を本機の内部LCDに表示させるには、外部ディスプレイを接続する前に、セットアップユーティリティの「メイン」メニューの[ディスプレイ]を[内部LCD]に設定してください。

ハードウェアを診断する

本機に搭載されているハードウェアが正しく動作しない場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。
ハードウェアに異常が見つかったときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。詳しくは、「保証とアフターサービス」（➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』）をご覧ください。

PC-Diagnosticユーティリティで診断するハードウェア

診断するハードウェア	PC-Diagnosticユーティリティの表示
CPU	CPU/System
メモリー	RAM xxxx MB
ハードディスク	HDD xxx GB
ビデオコントローラー	Video
サウンド	Sound
LAN	LAN
無線LAN	Wireless LAN
USB	USB
PCカードコントローラー	PC Card
SDカードコントローラー	SD
内部キーボード	Keyboard
ホイールパッド	Touch Pad

- Video診断中に画面が乱れたり、Sound診断中にスピーカーから音が出ることがありますが、これらは異常ではありません。Sound診断中は、大きなビープ音が鳴りますので、ヘッドホンを装着しないでください。（Windowsでミュートに設定している場合、音は鳴りません。）
- ソフトウェアは診断できません。

操作のしかた

ホイールパッドで操作することをお勧めします。ホイールパッドで操作しないときは、代わりに内部キーボードで操作することもできます。

操作	ホイールパッドの操作	内部キーボードの操作
アイコンを選ぶ	ポインターをアイコンの上に合わせる	[　　　]（スペースキー）を押してから[→][←][↑][↓]を押す（画面右上の[close]は選べません。）
アイコンをクリックする	タップまたはクリックする（右クリックは使えません。）	アイコン上で[　　　]（スペースキー）を押す
PC-Diagnosticユーティリティを終了してパソコンを再起動する	画面右上の[close]をクリックする	[Ctrl]+[Alt]+[Del]を押す

ホイールパッドが正しく動作しない場合は、[Ctrl]+[Alt]+[Del]を押してパソコンを再起動するか、電源スイッチを押して電源を切った後に、再度PC-Diagnosticユーティリティを起動してください。

ハードウェアを診断する

診断する

セットアップユーティリティを工場出荷時の状態にして実行します。セットアップユーティリティなどで使用できないように設定されている場合は、ハードウェアのアイコンがグレー表示になります。

1 **周辺機器を取り外す。**

2 **ACアダプターを接続する。**
診断中は、ACアダプターの抜き挿しや周辺機器の取り付け/取り外しを行わないでください。

3 **パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。**

4 **パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。**
- お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをお勧めします。
- 以降の手順でパスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードを入力し、Enterを押してください。

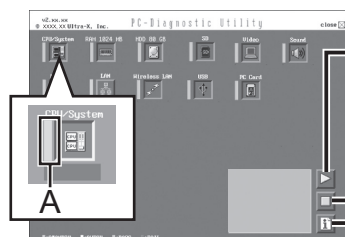
5 **F9を押す。**
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。

6 **F10を押す。**
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。

7 **パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。**

8 **←と→を使って「終了」メニューに移動する。**

9 **↑と↓を使って[診断ユーティリティ]を選びEnterを押す。**
[診断ユーティリティ]が選べない場合、次の手順を行ってください。
① ↑と↓を使って[設定を保存して再起動]を選びEnterを押す。
　確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。
② パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。
③ ←と→を使って「終了」メニューに移動し、[診断ユーティリティ]を選んでEnterを押す。
PC-Diagnosticユーティリティが起動し、自動的にすべてのハードウェアの診断が始まります。（画面は英語です。）
アイコンの左側（A）に青色と黄色が交互に表示され始めるまでは、ホイールパッドまたは内部キーボードが使えません。

診断中にクリックして行える操作

診断を最初から始めるとき

診断を中止するとき（診断を途中から再開することはできません）

ヘルプを表示するとき（画面をクリックするか［スペースキー］（スペースキー）を押すと元の診断画面に戻ります）

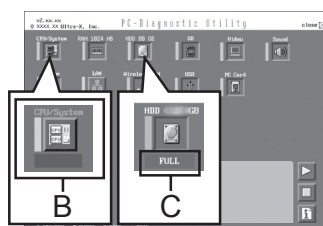
- ハードウェアのアイコンの左側（A）の表示色で診断状況が確認できます。
  - 水色：診断していない状態
  - 青色と黄色が交互に表示：診断中。診断内容によって表示の間隔は異なります。
    RAM診断中は、表示が長時間止まることがありますが、そのままお待ちください。
  - 緑色：正常と診断
  - 赤色：異常と診断
- 気温が高い場所でお使いの場合、表示される診断時間よりも長くかかる場合があります。

メ モ

●次の手順で、特定のハードウェアのみを診断することができます。

① ■をクリックして診断を中止する。

② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックしてグレー表示（B）にする。
ハードディスク、キーボード、ホイールパッドの場合は、クリックすると拡張診断（アイコンの下（C）に「FULL」と表示）になり、再度クリックするとグレー表示になります。

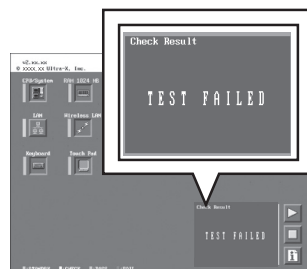
③ ▶をクリックして診断を始める。

●拡張診断ができるハードウェアは、ハードディスク、キーボード、ホイールパッドです。通常のご使用時は、キーボードとホイールパッドの拡張診断を行う必要はありません（これらの拡張診断は、ご相談窓口にお問い合わせいただいたときに診断を行っていただく場合があります）。ハードディスクの拡張診断は、標準診断に比べて詳しい診断を行うため、診断時間が長くなります。

●PC-Diagnosticユーティリティは、次の手順でも起動することができます。
（セットアップユーティリティの「起動」メニューで[Boot Mode]を[高速]に設定していると、次の手順で起動できない場合があります。）

① 手順6まで行う。

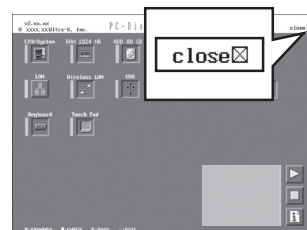
② パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にCtrl+F7を押し続ける。

10 すべてのハードウェアが診断されたら、診断結果を確認する。

赤色になり「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、パソコンのハードウェアが故障していると考えられます。赤色で表示されているハードウェアを確認して、ご相談窓口にご相談ください。
緑色になり「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、パソコンのハードウェアは正常です。そのままお使いください。

メ モ

RAMモジュールを増設した状態でメモリー診断をして「Check Result TEST FAILED」が表示された場合：
増設されたRAMモジュールを取り外して診断を行ってください。それでも「Check Result TEST FAILED」が表示された場合、内蔵のRAMモジュールが故障していると考えられます。

11 診断が終了したら、画面右上の[close]をクリックするか、Ctrl+Alt+Delを押してパソコンを再起動する。

困ったとき

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客さまの損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

次のものを準備してください。

- Windows 7用プロダクトリカバリーDVD-ROM
- 外付けCD/DVDドライブ（別売り）
  使用できるCD/DVDドライブについては、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「別売り商品」をご覧ください。

次の点を確認してください。

- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- データ消去には、1時間～7時間かかります（ハードディスクの容量によって消去時間は異なります）。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行するとハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

データをすべて消去する

1 ACアダプターを接続する。

2 外付けCD/DVDドライブ（別売り）を本機に接続する。
使用できるCD/DVDドライブについては、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「別売り商品」をご覧ください。接続のしかたは、外付けCD/DVDドライブの説明書をご覧ください。

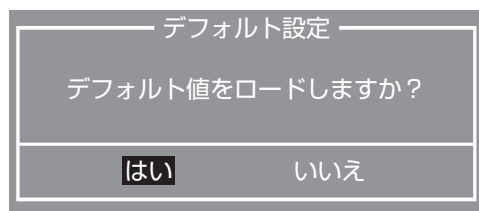
3 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押し、セットアップユーティリティを起動する。

- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enterを押してください。

パスワードを入力してください

- ユーザーパスワードでは各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻すF9は使えません。

4 **F9を押す。**

次の画面で[はい]を選び、Enterを押してください。

5 **F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押す。**

- セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

6 **「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押し、セットアップユーティリティを起動する。**

7 **Windows 7用プロダクトリカバリー DVD-ROMをCD/DVDドライブにセットする。**

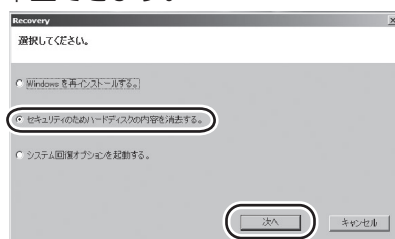
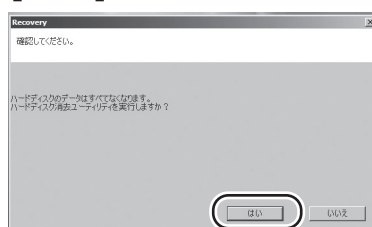
8 **←と→を使って「終了」メニューに移動する。**

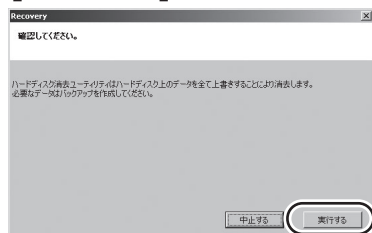
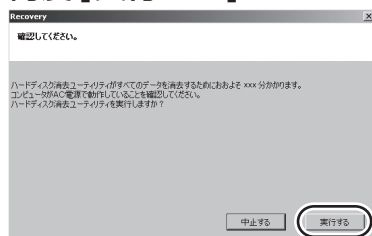
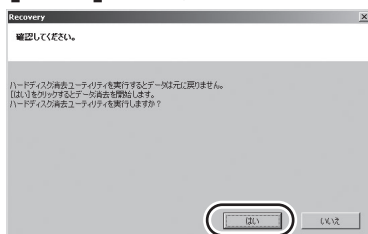
9 **↑と↓を使って[デバイスを指定して起動]の下に表示されている外付けのCD/DVDドライブのデバイス名（例:[MATSHITAXXXX]）を選び、Enterを押す。**

デバイス名がわからない場合は次の手順を行ってください。

1. [起動]メニューに移動する。
2. [起動オプション #1]を選びEnterを押し、[USB CD/DVDドライブ]を選んでEnterを押す。
3. F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選びEnterを押す。

10 **[セキュリティのためハードディスクの内容を消去する]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。**

[キャンセル]をクリックすると、操作を中止できます。

11 **確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。**

12 **[実行する]をクリックする。**

13 **再度[実行する]をクリックする。**

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

14 [はい] をクリックする。

ハードディスクのデータ消去が開始されます。

15 終了のメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリー DVD-ROM を取り出し、外付けのCD/DVD ドライブを取り外して [OK] をクリックする。

- パソコンの電源が切れます。
- 何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

パソコンの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

データ流出のトラブルを回避するためにはハードディスク内に記録されたすべてのデータを、お客さまの責任において消去することが非常に重要です。

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客さまの重要なデータが記録されています。

したがって、そのパソコンを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

- 「削除」操作を行う
- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- OSをインストールし直す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

ハードディスク内にお客さまがインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、次のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、またはこれら以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

<table>
<tr><th>エラーコード/メッセージ</th><th>対 処</th></tr>
<tr><td>システムCMOS値が正しくありません。</td><td rowspan="2">セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。
●セットアップユーティリティで、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>システムCMOSのチェックサムが正しくありません。</td></tr>
<tr><td>日付と時刻の設定が正しくありません。2010/01/01に設定しました。</td><td>日付と時刻の設定が正しくありません。
●セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、日付と時刻を正しく設定してください。
●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>エラー
ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています。
セットアップユーティリティを起動し、正しく設定し直してください。</td><td>ハードディスクへのアクセスが禁止されています。
●セットアップユーティリティを起動し、設定内容をハードディスク保護を設定したときと同じ内容に設定し直してください。</td></tr>
<tr><td>< F2 >キーを押すとセットアップを起動します。</td><td>●エラー内容をメモした後、F2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。</td></tr>
<tr><td>Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key</td><td rowspan="2">起動しようとしたフロッピーディスクやハードディスクにOS が正しくインストールされていません。
●フロッピーディスクドライブに起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。
●ハードディスクから起動できない場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューでハードディスクが正しく認識されているか確認してください。
・認識されている場合（「xxx GB」と表示）は、OSをインストールし直してください。
・認識されていない場合（「なし」と表示）は、ご相談窓口にご相談ください。
●USB ポートに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシー USB]を[無効]に設定してください。</td></tr>
<tr><td>Disk error
Press any key to restart</td></tr>
</table>

セットアップユーティリティの起動方法：➡29ページ

フィルタリングについて

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットを利用すると世界中の情報にアクセスすることができますが、中には違法な情報や有害な情報も存在します。次のような情報は、青少年の健全な発育を妨げるだけでなく、青少年による犯罪や財産権侵害、人権侵害などの問題を助長していると見られています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口やひぼう中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるため、上述のようなサイトも公開をやめさせることはできません。また、日本では非合法でも、そのWebサイトを発信している国では合法なものもあります。

有害なインターネット上の情報の受信を自動的に制限する技術が、「フィルタリング」です。これは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、有害な情報の受信を制限できる有効な手段です。特に青少年がインターネットを利用する家庭では、パソコンにフィルタリング機能を持つソフトウェアをインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をお勧めします。

本機には、「フィルタリング」機能をサポートするソフトウェアとして「i-フィルター 5.0」30日お試し版が用意されています。デスクトップの（有害サイトから守るiフィルターのセットアップ）をダブルクリックして「i-フィルター 5.0」30日お試し版をインストールすることができます。

「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはサービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Webフィルター」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、機能や利用条件が異なります。ソフトウェア提供会社あるいは、お客さまが契約されているインターネット事業者に、事前に確認されることをお勧めします。

フィルタリングに関する情報は、社団法人　電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」からも入手できます。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/report/pcsupport/index.html

（2010年1月1日現在）

●「i-フィルター 5.0」30日お試し版のお問い合わせ先

窓口	デジタルアーツ株式会社 サポートセンター
FAQ	http://www.daj.jp/faq/
お問い合わせフォーム	http://www.daj.jp/ask/
E-mail	p-support@daj.co.jp
電話	月～金：03-3580-5678（受付時間 10:00 ～ 18:00（祝祭日を除く）） 土日祝祭日：0570-00-1334（受付時間 10:00 ～ 20:00） （指定休業日を除く）
URL	http://www.daj.jp/

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。
下記品番以外のパソコンをお持ちの場合は、付属の『お知らせ』などで仕様を確認してください。

●本体仕様

品番	CF-R9JWBCPS	CF-R9JCBCPS
CPU	インテル® vPro™ テクノロジー採用※1	—
	超低電圧★版 インテル® Core™ i7-620UM vPro™ プロセッサー	超低電圧★版 インテル® Core™ i7-620UM プロセッサー
	（インテル® スマートキャッシュ 4 MB※2、動作周波数 1.06 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー利用時は最大 2.13 GHz）	
チップセット	モバイルインテル® QM57 Express チップセット	
メインメモリー	標準 2 GB※2 DDR3 SDRAM（最大 4 GB※2※3）	
空きスロット数	1	
ビデオメモリー	最大 763 MB※2、2 GB のメモリーを増設した場合は最大 1563 MB※2（メインメモリーと共用）※4 （Windows XP の場合：最大 256 MB※2（メインメモリーと共用）※4）	
ハードディスクドライブ※5	250 GB（Serial ATA） 上記容量のうち約 12 GB をリカバリー領域、約 300 MB をシステム領域として使用（ユーザー使用不可） （Windows XP の場合はリカバリー領域およびシステム領域はありません）	
表示方式	10.4 型 TFT カラー液晶 XGA（1024 × 768 ドット）	
内部 LCD 表示	1024 × 768 ドット：約 1677 万色※6	
外部ディスプレイ表示※7	800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット、1280 × 768 ドット、1280 × 1024 ドット、1400 × 1050 ドット、1680 × 1050 ドット、1600 × 1200 ドット、1920 × 1080 ドット、1920 × 1200 ドット：約 1677 万色	
本体＋外部ディスプレイ同時表示※7	800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット：約 1677 万色※6	
無線 LAN	インテル® Centrino® Advanced-N 6200 IEEE802.11a（W52/W53/W56）/ b/g/n 準拠※8（➡60 ページ）	搭載されていません
LAN※9	1000BASE-T/100BASE-TX / 10BASE-T	
モデム※10	データ：56 kbps（V.90） FAX：14.4 kbps / ボイス非対応	
サウンド機能	PCM 音源（24 ビットステレオ（Windows XP の場合：16 ビットステレオ））、インテル® High Definition Audio 準拠、モノラルスピーカー	
セキュリティチップ	TPM（TCG V1.2 準拠）※11	
カードスロット	PC カードスロット（TYPE Ⅱ）× 1 スロット （CardBus 対応、許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA） SD メモリーカードスロット※12 × 1 スロット （SDHC メモリーカード対応 / 著作権保護技術対応）	
拡張メモリースロット	DDR3 204 ピン SO-DIMM × 1 スロット（1.5 V /PC3-6400/DDR3 SDRAM）	
インターフェース	USB ポート× 2（USB2.0 × 2）※13、モデムコネクター（RJ-11）※10、LAN コネクター（RJ-45）※9、外部ディスプレイコネクター（アナログ RGB ミニ Dsub 15 ピン）、ミニポートリプリケーターコネクター（専用 50 ピン）、マイク入力端子（ステレオミニジャック M3（プラグインパワー対応））※14、オーディオ出力端子（ステレオミニジャック M3）	
キーボード/ポインティングデバイス	OADG 準拠キーボード（85 キー）、キーピッチ：17 mm（横）/ 14.3 mm（縦）（一部キーを除く）/ ホイールパッド	
電源	AC アダプターまたはバッテリーパック	
AC アダプター※15	入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz / 60 Hz、出力：DC 16 V、2.8 A、電源コードは 100 V 専用	

品番		CF-R9JWBCPS	CF-R9JCBCPS
バッテリーパック		7.2 V（Li-ion）、公称容量 6.2 Ah/定格容量 5.8 Ah	
	バッテリー駆動時間[※16]	約7.5時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）	
	バッテリー充電時間[※17]	約3.5時間（電源オフ時）/約5時間（電源オン時）	
消費電力/ エネルギー消費効率[※18]		最大約45 W[※19]/2007年度基準　I区分0.00019 （社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：27 W	
外形寸法		幅229 mm ×奥行き187 mm ×高さ29.4 mm / 42.5 mm（前部/後部） 突起部除く	
質量[※20]	パソコン本体	約0.93 kg（付属のバッテリーパック（約0.22 kg）装着時）	約0.92 kg（付属のバッテリーパック（約0.22 kg）装着時）
	ACアダプター	約0.155 kg（電源コード（約0.06 kg）除く）	
使用環境条件		温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：30 % RH ～ 80 % RH（結露なきこと）	
OS[※21]	ベースOS	Windows® 7 Professional 32ビット正規版（日本語版）/Windows® 7 Professional 64ビット正規版（日本語版） （Windows XP Mode搭載）（Windows® XPダウングレードサービス済み）	
	インストールOS	Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack3 正規版	
導入済みソフトウェア[※21] （Windows XPの場合：➡58ページ）		Microsoft® Internet Explorer 8.0/ネットセレクター 2/無線切り替えユーティリティ[※22]/Infineon TPM Professional Package V3.6[※23]/Adobe Reader/バッテリー残量表示補正ユーティリティ /ホイールパッドユーティリティ /Hotkey設定/Panasonic電源プラン拡張ユーティリティ /Microsoft® Windows® Media Player 12/PC情報ポップアップ/PC情報ビューアー /Aptioセットアップユーティリティ /PC-Diagnosticユーティリティ[※24]/ハードディスクデータ消去ユーティリティ[※25]/DirectX 11/ Microsoft® .NET Framework 3.5.1	
		下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。次の手順を行った後、画面の指示に従ってください。 • セキュリティ設定ユーティリティ：「C:¥util¥secutil」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 •「i -フィルター 5.0」30日お試し版：デスクトップの「有害サイトから守るi フィルターのセットアップ」をダブルクリックします。 • NumLockお知らせ：「C:¥util¥numlkntf」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。テンキーモードに設定されていても、Panasonic Notificationがインストールされていない場合は、Windowsのログオン画面で「NumLockお知らせ」画面は表示されません。 • Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティ：「C:¥util¥setfnctrl」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • USBキーボードヘルパー：「C:¥util¥ukbhelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。Panasonic Notificationがインストールされていない場合は、WindowsのログオンUSBキーボードヘルパーは動作しません。 • USBマウスヘルパー：「C:¥util¥umouhelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • ディスプレイヘルパー：「C:¥util¥disphelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • プロジェクターヘルパー：「C:¥util¥projhelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップします。 • Wireless Manager mobile edition 5.5[※26]：デスクトップの「Wireless Manager mobile editionのセットアップ」アイコンをダブルクリックします。 • ズームビューアー：「C:¥util¥loupe」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • ぴったりビュー：「C:¥util¥optiview」フォルダー内の[setup] を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • Windows XP Mode：（スタート）-[すべてのプログラム]-[Windows Virtual PC]-[Windows XP Mode]をクリックします。[※27]	

●Windows XPの場合の導入済みソフトウェア※21

Microsoft® Internet Explorer 6 Service Pack 3/ネットセレクター/無線切り替えユーティリティ※22/Infineon TPM Professional Package V3.5SP1※23/Adobe Reader/エコノミーモード（ECO）切り替えユーティリティ/バッテリー残量表示補正ユーティリティ/ホイールパッドユーティリティ/Hotkey設定/省電力設定ユーティリティ/Microsoft® Windows® Media Player 10/Microsoft® Windows® Movie Maker 2.1/ファン制御ユーティリティ/PC情報ポップアップ/PC情報ビューアー/フォントサイズ拡大ユーティリティ/DirectX 9.0c/Microsoft® .NET Framework 3.5/Aptioセットアップユーティリティ/PC-Diagnosticユーティリティ※24/ハードディスクデータ消去ユーティリティ※25
下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。下記フォルダー内のsetup.exeまたは下記アイコンをダブルクリックして画面に従ってください。 • セキュリティ設定ユーティリティ：C:¥util¥secutilフォルダー •「i-フィルター 5.0」30日お試し版：デスクトップの「有害サイトから守るiフィルターのセットアップ」アイコン • NumLockお知らせ：C:¥util¥numlkntfフォルダー テンキーモードに設定されていても、このソフトウェアをセットアップしていなければ、「NumLockお知らせ」画面は表示されません。 • Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティ：C:¥util¥setfnctrlフォルダー • USBキーボードヘルパー：C:¥util¥ukbhelpフォルダー • USBマウスヘルパー：C:¥util¥umouhelpフォルダー • ディスプレイヘルパー：C:¥util¥disphelpフォルダー • プロジェクターヘルパー：C:¥util¥projhelpフォルダー • Wireless Manager mobile edition 5.5※26：デスクトップの「Wireless Manager mobile editionのセットアップ」アイコン • 無線接続無効ユーティリティ※28：C:¥util¥wdisableフォルダー • ズームビューアー：C:¥util¥loupeフォルダー • ぴったりビュー：C:¥util¥optiviewフォルダー

★ 既存のインテル低電圧版に比べて、さらに電圧レベルを低下。

※1 インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー（インテル® AMT）の機能をお使いになるには、セットアップユーティリティの[AMT設定]で設定が必要です（➡36ページ）。また、別途管理アプリケーションソフトが必要になります。

※2 1 MB=1,048,576バイト。1 GB＝1,073,741,824バイト。

※3 メインメモリーと合わせて4 GBに増設した場合、32ビットOSでは仕様により、実際に使用できるメモリーサイズは小さくなります（3.4 GB ～ 3.5 GB）。

※4 本機の動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。ビデオメモリーのサイズはOSにより割り当てられます。
Windows 7（64 ビット）では最大763 MB、2 GBのメモリーを増設した場合は最大1696 MBになります。

※5 1 MB＝1,000,000バイト。1 GB=1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。

※6 グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。

※7 パソコン本体の外部ディスプレイコネクターは、パソコン用外部ディスプレイを接続するためのコネクターです。外部ディスプレイによっては、正しく表示できない場合があります。また、家庭用のテレビを外部ディスプレイとしてお使いの場合は、テレビに付属の取扱説明書で対応解像度をご確認ください。

※8 本機と通信するには、W52/W53/W56のいずれかに対応した無線LANアクセスポイントをお使いください。IEEE802.11n準拠モードで通信するには、本モードに対応した無線LANアクセスポイントが必要です。また、本機および無線LANアクセスポイントの暗号化設定をAESに設定する必要があります。詳しくは無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

※9 コネクターの形状によっては使用できないものがあります。伝送速度は、理論上の最大値であり、実際のデータ伝送速度を示すものではありません。使用環境により変動します。

※10 モデムは一般電話回線専用です。56 kbpsはデータ受信時の理論値です。データ送信時は33.6 kbpsが最大速度です。

※11 お使いになるにはInfineon TPM Professional Packageをセットアップする必要があります
（➡ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「データを暗号化する」）。

※12 High Speed Modeに対応。Windows 7の場合はHigh SpeedメモリーカードによるWindows Ready Boost機能に対応しています。
容量32 GBまでの当社製SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードの動作を確認済み。
すべてのSD機器との動作を保証するものではありません。

※13 USB対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
※14 コンデンサー型マイクロホンをお使いください。
※15 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。（➡7ページ）
※16「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約８割になります。
※17 バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効（電源オン/オフ）時の充電時間は約５時間。バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。
※18 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
※19 パソコンの電源が切れていて、バッテリーが満充電や充電していないときはパソコン本体で約0.7 Wの電力を消費します。スタンバイ状態/休止状態でのバッテリー残量保持期間は、「電源を入れる/切る」をご覧ください（➡24ページ）。
ACアダプターをパソコン本体に接続していなくても、電源コンセントに接続したままにしていると、ACアダプター単体で最大0.3 Wの電力を消費します。
※20 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
※21 Windows XPダウングレード済みモデルは、Windows 7 Professionalモデルをご購入されたお客さまの権利であるOSのダウングレード権の行使を、当社がお客さまに代わってWindows XP Professionalをインストールしてご提供するモデルです。
Windows 7をインストールした後、ハードディスクリカバリー機能を使ってWindows 7を再インストールすると、インストールするOS（Windows 7（32ビット）またはWindows 7（64ビット））を選ぶことができます。
お買い上げ時にインストールされているOS、ハードディスクリカバリー機能または本機に付属のプロダクトリカバリー DVD-ROMを使ってインストールしたOSのみサポートします。
プロダクトリカバリー DVD-ROMに収録されているソフトウェアの一部は、機種によっては導入されない場合があります。
※22 無線機能 搭載モデルのみ導入済みです。
※23 お使いになるにはセットアップが必要です（➡ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「データを暗号化する」）。
※24 起動方法は「ハードウェアを診断する」をご覧ください。この機能には（株）ウルトラエックスの技術を使用しています。
※25 修復用領域上で実行するユーティリティ（実行できない場合またはWindows XPの場合は、プロダクトリカバリー DVD-ROMから実行してください）。
※26 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（当社製液晶プロジェクター TH-LB20NT/TH-LB30NT/TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT/PT-FW100NT/PT-F100NT/PT-F200NT/PT-F300NT/PT-FW300NT/PT-LB51NT/PT-LB75NT/PT-LB80NT/PT-LB90NT/PT-LW80NT/PT-F300/PT-FW300と無線LAN接続または有線LAN接続するときに使います）。無線LAN接続する場合、無線LAN搭載モデルは内蔵の無線LANで接続できます。非搭載モデルは別売りの無線LANカード（お使いのプロジェクターの推奨品）が必要です。詳しくは『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「プロジェクターを使う」をご覧ください。
※27 詳しくは、Windows 7の『操作マニュアル』「（アプリケーションソフト）」の「Windows XP Mode」をご覧ください。アプリケーションソフトの動作環境やWindows 7への対応状況については、アプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。
Windows XP Modeは、Windows XPが持つすべての機能や性能を保証するものではありません。
※28 無線LAN搭載モデルのみ使用できます。

Windows XP Professionalへのダウングレード権について

Windows 7 ProfessionalはMicrosoft社よりWindows XP Professionalへのダウングレード権が与えられています。Windows XPにダウングレードするには、Windows XP Professionalのインストールメディアが必要になります。
（本機のWindows 7 Professionalは、Windows XP Modeを使うことができ、Windows 7上でWindows XPを実行することができます。）

仕様

●無線LAN

データ転送速度 （規格値）※29	IEEE802.11a：　54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11b：　11/5.5/2/1 Mbps IEEE802.11g：　54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11n 20MHz時：　6.5/13/19.5/26/39/52/58.5/65/78/104/117/130 Mbps 20MHz、Short GI有効時：　7.2/14.4/21.7/28.9/43.3/57.8/65/72.2/86.7/115.6/130/144.4 Mbps 40MHz時：　13.5/27/40.5/54/81/108/121.5/135/162/216/243/270 Mbps 40MHz、Short GI有効時：　15/30/45/60/90/120/135/157.5/180/240/270/300 Mbps
準拠規格	ARIB STD-T66/ARIB STD-T71 IEEE802.11a（W52/W53/W56）、IEEE802.11b、IEEE802.11g、 IEEE802.11n※30（無線LAN標準プロトコル）
伝送方式	OFDM 方式、DS SS方式
有効距離※31	IEEE802.11a：見通し約30 m IEEE802.11b/g/n：見通し約50 m（アクセスポイントとの通信時）
使用無線チャンネル	インフラストラクチャ通信モード： IEEE802.11a/n：　36/40/44/48チャンネル（W52） 52/56/60/64チャンネル（W53） 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140チャンネル（W56） IEEE802.11b/g/n：　1 ～ 13チャンネル ad hoc通信モード： IEEE802.11b/g：　1 ～ 11チャンネル
RF周波数帯域	2.4 GHz帯域（2.4 GHz ～ 2.4835 GHz） 5 GHz帯域（5.15 GHz ～ 5.35 GHz、5.47 GHz ～ 5.725 GHz）※32

※29 無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。表示の数値は、本機と同等の構成を持った機器と通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a
J52 W52 W53 W56

※30 IEEE802.11n準拠の表記は、他のIEEE802.11n対応製品との接続性を保証するものではありません。

※31 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OSなどの使用条件によって異なります。

※32 IEEE802.11a（5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください。

●本機のモデムは次の国または地域の規格に準拠しています（モデム搭載モデルのみ）。
アイスランド、アイルランド、アメリカ、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、アンドラ、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、エクアドル、エストニア、エジプト、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、キプロス、ギリシャ、クウェート、クロアチア、サウジアラビア、サンマリノ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、台湾、チェコ、チリ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、バチカン市国、パラグアイ、ハンガリー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ブルネイ、ペルー、ベルギー、ベネズエラ、ポーランド、ポルトガル、ホンジュラス、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ共和国、モナコ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、リヒテンシュタイン、ルーマニア、ルクセンブルク、ロシア

（2010年1月1日現在）

ソフトウェア使用許諾書

第1条	権　　利	お客さまは、本ソフトウェア（パソコン本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルやCD-ROM/DVD-ROMなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、特許権、著作権またはその他一切の権利は弊社が所有するものであり、お客さまに移転するものではありません。
第2条	第三者の使用	お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。
第3条	コピーの制限	本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）を目的とした1回に限定されます。
第4条	使用パソコン	本ソフトウェアは、本パソコン1台での使用とし、他のパソコンで使用することはできません。
第5条	解析、変更 または改造	本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。
第6条	アフターサービス	お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
第7条	免　　責	本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第6条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。
第8条	合意管轄	本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。
第9条	準拠法	本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。
第10条	輸出管理	お客さまが本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

● Microsoftとそのロゴ、Windows、Windowsロゴ、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
● Intel、Intel Core、インテルは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
● SDHCロゴは商標です。
● Adobe、Adobeロゴ、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
● McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
● 「i-フィルター」はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
● ホイールパッドは、パナソニック株式会社の登録商標です。

その他の製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

重要なお知らせ

● お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
● 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器/装置/システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器/装置/システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
● 本機は、医療診断目的で画像を表示することを意図しておりません。
● お客さままたは第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障/修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化/消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「使用上のお願い」（➡10 ～ 16ページ）の内容に注意してください。

● 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
● 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
● 落丁、乱丁はお取り換えします。
● 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
● 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

2-J-2

本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

3-J-1-1

日本国内で無線LANをお使いになる場合のお願い

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式/直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約40 mであることを意味します。

25-J-2-1

5 GHz 帯の無線LAN をお使いになる場合のお願い

5 GHz 帯の無線LAN は、電波法の規制により、屋外で使用できません。また、日本国外では使用できません。
お客さまが2.4 GHz帯11nモードで無線LANをお使いの際に、無線LANのデバイス・プロパティにて802.11nチャンネル幅を「自動」(40 MHz帯域幅も可能）へ設定を変更される場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。また万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、本設定を20 MHzへ戻してください。

43-J-2

EU

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

これらの記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。

本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

53-J-1

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

22-J-1

愛情点検　**長年ご使用のパソコンの点検を！**

こんな症状はありませんか	• 異常な音やにおいがする • 水や異物が入った	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社　ITプロダクツ事業部

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

SS0110-0_WEB
DFQW5364ZA

Printed in Japan